

Ⅷ 文化財保護

1. 有形文化財

(1) 建造物

①重文 新垣家住宅主屋ほか6棟 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 新垣和子ほか12名
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 平成21年度の登り窯解体格納調査事業に引き続き、経年による腐朽の著しい主屋や作業場、離れ等の保存修理を行った。
 事業費総額： 110,000千円

	平成26年度	平成22年度～平成26年度
市補助額	8,250千円	29,903千円
県補助額	8,250千円	29,902千円
国庫補助額	93,500千円	338,895千円
合計	110,000千円	398,700千円

②重文 津嘉山酒造所施設主屋及び麴屋 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 合資会社 津嘉山酒造所
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 平成23年度に事業を開始した。平成25年度に引き続き経年と蟻害による木部の腐朽が著しい麴屋を完成させ、主屋兼工場の保存修理を行った。
 事業費総額： 70,000千円

	平成26年度	平成23年度～平成26年度
所有者負担	3,500千円	8,320千円
市補助額	3,500千円	8,319千円
県補助額	7,000千円	16,639千円
国庫補助額	56,000千円	133,112千円
合計	70,000千円	166,390千円

③重文 豊見親あとんま墓及び知利真良豊見親の墓 建造物保存修理 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 宮古島市
 事業の目的： 重要文化財の適正な保存を図る。
 事業内容： 重要文化財の保存修理のため、一部石垣の積み直し修理を実施する。
 事業費総額： 21,340千円

	平成26年度
市補助額	3,769千円
県補助額	499千円
国庫補助額	17,072千円
合計	21,340千円

④重文 中村家住宅 建造物緊急防災施設耐震改修 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 中村 国宏
 事業の目的： 重要文化財防災設備の適正な保存を図る。
 事業内容： 経年による老朽化の著しい防災施設の設計監理を行った。
 事業費総額： 1,931千円

	平成26年度
所有者負担	98千円
村補助額	96千円
県補助額	193千円
国庫補助額	1,544千円
合計	1,931千円

⑤重文 喜友名泉 建造物環境保全 事業

事業種別： 国庫補助事業
 事業主体： 宜野湾市
 事業の目的： 重要文化財(建造物)の復旧工事を行う。
 事業内容： 雨水流入で喜友名泉内に土砂が堆積、石積崩落が予想され擁壁を設置した。
 事業費総額： 3,153千円

	平成26年度
市補助額	536千円
県補助額	95千円
国庫補助額	2,522千円
合計	3,153千円

(2) 美術工芸

① 在外沖縄関連文化財調査

事業総額: 1,348千円

事業種別: 県単独事業

事業主体: 沖縄県

調査期間: 平成26年6月16日～6月21日の

調査目的: 琉球王国時代から現在に至るまで、沖縄では数々の優れた価値を有する文化財が生み出されてきたが、様々な理由によって、散逸してしまった。本調査は海外に散逸した琉球関係の資料を収集することにより、沖縄戦などで失われた文化財を補完し、沖縄文化の体系化の基礎資料作成を目的としている。

事業概要: 平成26年2月16日から2月19日の期間、在外文化財調査のため中国福建省福州市福建師範大学附属図書館、台湾故宫博物院で調査を行った。

有識者: 調査員 前田舟子(沖縄大学 日本学術振興会特別研究員PD)

事務局 平川信幸(文化財課 主任)



台北故宫博物院(図書文献館)



収集された拓本資料



福建省立図書館

② 琉球国王尚家関係資料修復

事業総額: 22,000千円(国17,600千円、県510千円、市3,890千円)

事業種別: 国庫補助事業

事業主体: 那覇市

修復期間:平成26年5月21日 ～ 平成27年3月27日

修復目的:琉球国王尚家関係資料とは、1995年～1996年に那覇市に寄贈され文書類1,341件、美術工芸品85件をいう。その中から、尚家の個人資料や現代資料を除いた1,166件の尚家文書、並びに85件の美術工芸品が2006年に国宝として指定された。これらの資料は沖縄戦で多くの文化遺産を失った沖縄にとって、近世琉球期の政治・経済・文化、あらゆる面の解明に役立つ、重要な資料群である。

尚家文書は、1995年に寄贈を受けて以来、調査・展示、マイクロ撮影等を行ってきたが、膨大な資料群の中には破損状態がひどく、展示公開に耐えられない状態のものも多く、また内容調査のためにマイクロ撮影を行うにも頁を開くことさえ難しい状態のものも少なくない。さらに王国解体後は東京に持ち運び保管してきた尚家で修理・合本などの手が加えられたものも多数あり、修復知識のない状況で行われた修理が、現在では資料自体に悪影響を及ぼしているものも見受けられる。

早急に修理・補修を行い、広く展示・公開しなければならないが、文書点数が多いため、損傷状態の診断を行い、より劣悪な状態のものから優先的に修復する方針で、12年計画で実施する。

事業概要:前年に引き続き、尚家文書国宝指定分1,166件のうち、国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類国宝「琉球国王尚家関係資料」の文書記録類42冊ともに刀剣3振りの修理もおこなった。

実施体制:文化庁の保存修復方針、国宝修理装演師連盟に委託し、九州国立博物館内の修復工房で修復し、修復後は九州国立博物館で一般公開を行った。

③喜舎場永珣資料 史料調査事業

事業総額:2,805千円(国2,240千円、市565千円)

事業種別:国庫補助事業

事業主体:石垣市

事業期間:平成26年7月1日 ～ 平成27年3月31日

事業目的:喜舎場永珣氏が収集保管していた古文書類と、同氏が遺した調査ノート、調査メモ等の整理と調査を行い、郷土の歴史・文化の研究に資することを目的に実施する。

事業概要:平成24年に、喜舎場永珣氏が収集した古文書類や新聞資料、調録音テープ等が石垣市立八重山博物館に寄贈された。本事業では、古文書類の整理、目録作成と、調査ノート・メモ、レコード、録音テープの整理、分類を行うとともに、内容等の調査を行う。また、必要に応じ、デジタル化し記録の保存を図る。

実施体制:○事業着手後、「喜舎場永珣資料調査会」(仮称)を開催する。

調査会は、年に2回開催を予定し、今年度事業の調査方針や調査方法、調査内容等の助言を行う。事業完了前の調査会では、今年度事業の総括と次年度以降の調査方針や計画について審議し、次年度報告書作成に向けた作業に反映させていきたい。

○「喜舎場永珣資料調査会」の委員は、地元在住の有識者と県内大学の教授等で構成する。

委員は、年二回の調査会で、調査方針、方法、内容等を審議し調査への指導助言を行う。

また、地元有識者の委員からは、調査をすすめていくなかで、適宜、指導助言を仰ぐものとする。

○八重山博物館学芸員が調査員となり、非常勤職員を調査補助としておく。調査は、調査員と調査補助員で行うものとし、適宜、調査委員の指導助言を仰ぐものとする。

(3)銃砲刀剣類の登録

①沖縄県銃砲刀剣類登録審査委員

*沖縄県教育委員会委嘱(任期平成26年4月1日～平成27年3月31日)

大嶺 信義 (刀剣研究家)

上原 正人 (刀剣研究家)

兼濱 清周 (刀工)

②登録審査会

日 時:平成27年2月20日(金)14:00～17:00

場 所:沖縄県立埋蔵文化財センター 会議室

審査件数:5件(内訳:刀1、短刀2、太刀2)

登録証交付件数:5件(内訳:刀1、短刀2、太刀2)

登録証再交付申請:0件(内訳:刀0)

③臨時登録審査会

日 時:平成26年5月16日(金) 9:00～12:00

場 所:沖縄地区税関那覇外郵出張所

審査件数:21件(内訳:刀16、わきざし1、短刀3、太刀1)

登録証交付件数:21件(内訳:刀16、わきざし1、短刀3、太刀1)

④登録申請件数及び登録件数

区 分	種 別	申請件数	登録件数	備 考
刀 剣	た ち	3	0	
	刀	17	1	
	脇 差 し	1	0	
	短 刀	5	0	
	や り	0	0	
古式銃砲	火 縄 銃	0	0	
	その他の古式	0	0	
合 計		26	1	

⑤証紙出納実績

	審査件数	登録審査手数料	出納実績	備 考
審査手数料(新規登録)	26	6,300円/件	163,800円	
審査手数料(再 交 付)	0	3,500円/件	0円	
制作承認手数料	3	800円/件	2,400円	
合 計			166,200円	

⑥登録を受けた銃砲または刀剣類の譲受け・相続などの届出件数

種 別	銃砲など	刀剣類	計
譲り受け	0	17	17
相 続	0	0	0
貸 付 け	0	0	0
保管の委託	0	0	0
(発見届)	(0)	(17)	(17)
合 計	0	17	17

2. 無形文化財

(1) 芸 能 (伝承者養成事業)

①重要無形文化財「琉球舞踊」伝承者養成事業

事業総額：7,292千円（国7,000千円、県145千円、保存会147千円）

実施内容：国補助による琉球舞踊保存会直営事業（会長：玉城節子）

事業内容：伝承者養成研修を実施し、研修成果の発表会を行った。

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

研 修 会：期日、内容等は下記のとおり。

事業趣旨：琉球舞踊の古典舞踊と雑踊りについて、それぞれの師匠の技を再現し、確認することで、琉球舞踊に伝えられる技について演目ごとに理解を深める。

保持者を中心に現在の実演家たちが師事した師匠の技を再現し、流派を越えて学習することを旨とする。

琉球舞踊の古典舞踊七踊の研修

ア 系統の整理（琉球王国時代の御冠船踊りの芸統をひく7人の先達を基に整理）

現在の琉球舞踊保持者を中心に整理すると下記の通り。 ※ 下線部は物故者

玉城盛重

①玉城盛義：玉城節子、玉城秀子、谷田嘉子、金城美枝子、又吉静枝

②島袋光裕：島袋光晴、佐藤太圭子

③親泊興照：二代目親泊興照

④宮城能造：宮城能鳳

⑤真境名佳子：宮城幸子、喜納幸子

⑥真境名由康：真境名直子（2013年逝去のため、真境名結子と協議）

嵩原安詩

⑦比嘉清子：大城政子

⑧田島清郷：志田房子

伝承者を中心に整理すると下記の通り。

新垣松含 ⑨比嘉澄子

渡嘉敷守良 ⑩児玉清子 二代目児玉清子・由利子 金城光子 花岡勝子

読谷山親雲上 ⑪金武良章 安座間明美

川平親雲上 ⑫阿波連本啓 阿波連蘭子

屋我良勝 ⑬山田貞子 山内小夜 山内喜美枝

イ 研修方法

古典舞踊については、現在の琉球舞踊保持者の技の源流である玉城盛重と嵩原安詩について、8（上記の①～⑧）グループに分けた。琉球舞踊保持者に担い手がいない読谷山親雲上、新垣松含、屋我良勝、川平親雲上、渡嘉敷守良の5人の師匠の技について5（⑨～⑬）グループに分けて研修を実施した。

二才踊「前之浜」は、伝承の系譜により曲順の相違があるため、必ずしも古典の師の名前ではなく、調整をしてグループ分けをし研修を実施する。

あわせて演目についての有識者の講話を実施する。

・「琉球舞踊について」：5月24日 宜保榮治郎先生

・「天川の歌詞の解釈について」：1月31日 波照間永吉先生

・「前之浜の歌詞の解釈について」：2月1日 波照間永吉先生

本年度より実技研修に重きをおき、各分野よりえられた選抜研修生（約100名）と、一般研修生（約400名）にわける。

選抜研修生には9月の実技研修、および1月、2月の成果発表会への出演を課す。実技研修は稽古着だが、成果発表会は衣装着用・拵えあり。

その他の一般研修生は、2月の全員研修にて保持者の前で課題演目の演舞を行う（稽古着・拵えなし）。

ウ 演目：平成26年度は、古典舞踊「天川」 二才踊「前之浜」

エ 研修回数

平成26年度は以下の7回の研修を行う。

1 開講式（5月24日）※全員対象

2 選抜研修（9月27・28日）※選抜者対象

3 成果発表会および講話（1月31・2月1日）※出演は選抜者、出席は全員対象

4 実技発表会（2月14・28日）※全伝承者対象（選抜者を除く）

選抜者は2回（9月27・28日）の研修を行い、その成果を踏まえて2回の成果発表公演（1月31・2月1日）を実施する。

※ 衣装、化粧、道具等についても師からの教えを再現する。

※ 研修成果発表会は一般観客にも披露する。

選抜者実技研修会「天川」「前之浜」

趣 旨：琉球舞踊について理解を深め、技の研鑽を行う。

日 時：平成26年9月27日（土）・28日（日） 10時00分～13時10分

会 場：国立劇場おきなわ 大稽古室

対 象 者：平成26年度 選抜研修生（103名）

服 装：稽古着

参加方法：①選抜研修生が「天川」「前之浜」を踊り、全保持者が評価する。

②場当たりを、各グループ5分行き、その後連続して、その場で発表を行う。

③舞踊家は、各自の手で踊る。

評価方法：全保持者で行う。

【9月28日工程表】

実施時間	実施予定
09:50～9:59	受付開始
10:00～10:20	「天川」 グループ①場当たり（5分）＋発表（15分）
10:20～10:40	グループ②場当たり（5分）＋発表（15分）
10:40～11:00	グループ③場当たり（5分）＋発表（15分）
11:00～11:20	グループ④場当たり（5分）＋発表（15分）
11:30～12:30	休憩
12:30～12:40	「前之浜」 グループ①場当たり（5分）＋発表（5分）
12:40～12:50	グループ②場当たり（5分）＋発表（5分）
12:50～13:00	グループ③場当たり（5分）＋発表（5分）
13:00～13:10	グループ④場当たり（5分）＋発表（5分）
13:10～14:00	片付け（14:00完全退出）

出演・選抜研修生（○印は地謡リーダー）

午前【天川】

①グループ（玉城流玉扇会・玉城流七扇会） 5名

二代目玉城盛義・金城順子・大浜多津江・知花由美子・知名文子

地謡：○金城幸浩・新城治・大城次男・玉城利和（琉球古典音楽野村流伝統音楽協会）

箏：仲田美智子 笛：喜舎場孫好 胡弓：宇江城栄

②グループ（玉城流翔節会） 4名

前川美智子・知念範紺・平田弘子・玉城律子

地謡：○大湾朝重・上原伸浩・稲嶺盛律・末吉政利（琉球古典音楽野村流保存会）

箏：宮城光子 笛：仲田治巳 胡弓：祖堅信義

③グループ（玉城流扇寿会） 4名

上門加代子・安次嶺律子・浦崎みゆき・崎浜紀美子

地謡：○糸数昌治・上間克美・銘苺良光・新垣和則（野村流音楽協会）

箏：吉田登美子 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友

④グループ（親泊本流親扇会・宮城本流鳳乃會・宮城流美能留会・安座間本流） 5名

二代目親泊久玄・親泊ナミ・根路銘広美・宮城園美・安座間明美

地謡：○首里良三・砂辺孝真・仲宗根盛次・神里朝弘（琉球古典音楽野村流伝統音楽協会）

箏：野里葉子 笛：喜舎場孫好 胡弓：玉那覇昌子

午後【前之浜】

【前之浜・坂原・与那原】

①グループ（玉城流玉扇会・玉城流七扇会） 5名

二代目玉城盛義・金城順子・大浜多津江・知花由美子・知名文子

地謡：○金城幸浩・新城治・大城次男・玉城利和（琉球古典音楽野村流伝統音楽協会）

箏：仲田美智子 笛：喜舎場孫好 胡弓：宇江城栄 太鼓：金城盛松

②グループ（玉城流翔節会） 4名

前川美智子・知念範紺・平田弘子・玉城律子

地謡：○大湾朝重・上原伸浩・稲嶺盛律・末吉政利（琉球古典音楽野村流保存会）

箏：宮城光子 笛：仲田治巳 胡弓：祖堅信義 太鼓：天久祥

③グループ（玉城流扇寿会） 4名

上門加代子・安次嶺律子・浦崎みゆき・崎浜紀美子

地謡：○糸数昌治・上間克美・銘苺良光・新垣和則（野村流音楽協会）

箏：吉田登美子 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友 太鼓：宮雄二

④グループ（親泊本流親扇会・宮城本流鳳乃會・宮城流美能留会・安座間本流・

渡嘉敷守良流・柳清本流）（7名）

二代目親泊久玄・親泊ナミ・根路銘広美・宮城園美・安座間明美・二代目児玉清子・比嘉倫子

地謡：○首里良三・砂辺孝真・仲宗根盛次・神里朝弘（琉球古典音楽野村流伝統音楽協会）

箏：野里葉子 笛：喜舎場孫好 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：國場秀治
琉球舞踊保存会伝承者研修 成果発表会

日時：平成27年1月31日(土)・2月1日(日)

会場：国立劇場おきなわ 小劇場

内容

1 古典女踊り「天川」と二才踊「前之浜」について、各系統ごとに先達のわざを再現し、技術研修の成果を発表する。

2 発表と顧問の講話が2日間(1/31「天川」、2/1「前之浜」について)あります。

課題演目：古典女踊り「天川」 二才踊「前之浜」

成果発表会概要

1 古典「天川」と二才踊「前之浜」について、これまで研修を重ねてきた成果を発表する。

2 舞踊家は各自の手で踊る。

3 出演グループは選抜メンバーで行う。

4 演目の概容は、顧問が概要を行い、座学研修とする。

5 伝承者全員の発表機会は、2月研修で保証する。

成果発表会：1日目(平成26年1月31日)

プログラム

1 会長挨拶(02分)

2 趣旨説明(05分)・・・事務局長

3 「天川」演舞スタート

①グループ(真踊流) 5名

②グループ(島袋本流紫の会・太圭流華の会) 5名

③グループ(大城流寿乃会・重踊流・八擘流) 6名

④グループ(松含流・宗家眞境名本流眞薫会) 3名

4 「天川」講話：沖縄県立芸術大学教授 波照間永吉先生(40分)

5 「前之浜」演舞スタート

【前之浜・与那原・坂原】

①グループ(真踊流) 5名

②グループ(島袋本流紫の会・太圭流華の会) 5名

③グループ(大城流・重踊流・八擘流) 6名

【坂原・前之浜・与那原】

④グループ(松含流、宗家眞境名本流) 3名

6 総括(保持者)(10分)

7 閉会の挨拶

成果発表会出演者(1日目) ○印は地謡リーダー ※太鼓は「前之浜」のみ出演

①グループ(真踊流) ※眞境名由佳子は9月研修病欠(事前に届有り)のため削除

立方：宮城裕子・知花恵子・宮城りつ子・嶺井清美・瑞慶山和子(5名)

地謡：歌三線○上間宏敏・瑞慶覧朝孝・花城英樹・玉城和樹(琉球古典音楽安富祖流絃聲会)

箏：神谷和枝 笛：小浜博文 胡弓：川平賀道 太鼓：金城睦昭

②グループ(島袋本流紫の会・太圭流華の会)

立方：島袋秀乃・池城智子・具志なおみ・平良昌代・皆川律子(5名)

地謡：歌三線○金城光信・宇栄原宗真・玉那覇堅一・座間味良夫(野村流音楽協会)

箏：大道タケ子 笛：崎原盛次 胡弓：崎原盛勇 太鼓：金城安恵

③グループ(大城流・重踊流・八擘流)

立方：大城一乃・玉城美千枝・津波明子・志田真木・井口三恵子・前田千加子(6名)

地謡：歌三線○新垣仁輝・宇栄原宗勝・喜瀬学・金城勉(琉球古典音楽野村流保存会)

箏：上間千枝子 笛：照屋正 胡弓：又吉真也 太鼓：比嘉邦子

④グループ(松含流・宗家眞境名本流)

立方：比嘉早苗・宮良勝津美・仲程めぐみ(3名)

地謡：歌三線○照喜名進・仲嶺伸吾・照喜名朝國・宮里敏則(琉球古典音楽安富祖流絃聲会)

箏：島袋八重子 笛：我那覇常允 胡弓：石川清二 太鼓：金城安恵

(※太鼓：横目大通は9月研修欠席(事前に届有り)のため削除)

成果発表会：2日目(平成27年2月1日)

プログラム

1 会長挨拶(02分)

2 趣旨説明(05分) 事務局長

3 「天川」演舞スタート「天川」

①グループ(玉城流玉扇会) 4名

②グループ(玉城流翔節会) 4名

③グループ(玉城流扇寿会) 4名

④グループ(親泊本流親扇会・宮城本流鳳乃會・宮城流美能留会・

- 安座間本流・渡嘉敷守良流・柳清本流・玉城流七扇会) 8名
 4 「天川」講話：沖縄県立芸術大学教授 波照間永吉先生 (40分)
 5 「前之浜」演舞スタート
 【前之浜・与那原・坂原】
 ①グループ (玉城流玉扇会) 4名
 ②グループ (玉城流翔節会) 4名
 ③グループ (玉城流扇寿会) 4名
 ④グループ (親泊本流親扇会・宮城本流鳳乃會・宮城流美能留会・
 安座間本流・渡嘉敷守良流・柳清本流・玉城流七扇会) 8名
 6 総括 (保持者) (10分)
 7 閉会の挨拶

成果発表会・出演者 (2日目) ○印は地謡リーダー ※太鼓は「前之浜」のみ出演

- ①グループ (玉城流玉扇会) 4名
 立方：二代目玉城盛義・金城順子・大浜多津江・知花由美子
 地謡：歌三線○金城幸浩・新城治・大城次男・玉城利和 (琉球古典音楽野村流伝統音楽協会)
 箏：仲田美智子 笛：喜舎場孫好 胡弓：宇江城栄 太鼓：金城盛松
- ②グループ (玉城流翔節会) 4名
 立方：前川美智子・知念範紺・平田弘子・玉城律子
 地謡：歌三線○大湾朝重・上原伸浩・稲嶺盛律・末吉政利 (琉球古典音楽野村流保存会)
 箏：宮城光子 笛：仲田治巳 胡弓：祖堅信義 太鼓：天久祥
- ③グループ (玉城流扇寿会) 4名
 立方：上門加代子・安次嶺律子・浦崎みゆき・崎浜紀美子
 地謡：歌三線○糸数昌治・上間克美・銘苺良光・新垣和則 (野村流音楽協会)
 箏：吉田登美子 笛：知念久光 胡弓：当真嗣友 太鼓：宮雄二
- ④グループ (親泊本流親扇会・宮城本流鳳乃會・宮城流美能留会・安座間本流・
 渡嘉敷守良流・柳清本流・玉城流七扇会) (8名)
 立方：二代目親泊久玄・親泊ナミ・根路銘広美・宮城園美・安座間明美・
 二代目児玉清子・比嘉倫子・知名文子
 地謡：歌三線○首里良三・砂辺孝真・神里朝弘 (琉球古典音楽野村流伝統音楽協会)
 ※ 仲宗根盛次を削除
 箏：野里葉子 笛：喜舎場孫好 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：國場秀治
 ※ 仲宗根盛次からの9月研修欠席連絡は、研修当日、代理者の口頭にて連絡。
 9月研修時は①グループの新城治が代理に出演。
 ※ ④グループを2つに分けて、2日目全体を⑤グループにする意見あり。

琉球舞踊保存会 伝承者技能発表会 (2月14、28日) 研修者名簿 ○印は地謡リーダー
 2月14日 (土)

【前之浜・坂原・与那原】

- ①グループ (8名)
 立方：親泊本流親扇会② (親泊洋子・永吉静子)、親泊流⑥ (比嘉幸子・比嘉いずみ・
 新城園美・豊平すずか・大城清子・永吉麻衣子)
 地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会①・琉球箏曲興陽会①
 歌三線：○新垣安弘・平田邦夫・照喜名智・新垣一典・砂川昌徹・具志幸大
 箏：新城すえ子・上地敏子・佐久本秀子
 笛：宇保朝輝 胡弓：川平賀道 太鼓：兼島順子
- ②グループ (20名)
 玉城流玉扇会⑧ (米須千加子・島袋正子・仲村加代子・与座京子・島由美子・
 佐久川順子・山城愛子・比嘉光子・鉢嶺初江・大田礼子・當山真澄・玉城美千子・
 東文子・金城千夏・与那嶺綾子・米須千恵・東江裕吉・高嶺敦子)、
 玉城流乙姫要乃会② (富里敬子・宮城昭博)
 地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会②・琉球箏曲興陽会②
 歌三線：○嶺井政仁・國仲貴光・松本紀・眞榮城玄俊・勝連達也
 箏：仲本照美・玉城弘子・宮平栄子
 笛：清村まり子 胡弓：川平賀道 太鼓：護得久枝美
- ③グループ (18名)
 玉城流翔節会 (池原悦子・上原じゅん子・我如古磨佐子・上里初枝・瑞慶山和子・
 島尻ひさみ・金城末子・神山典子・平良恵子・安里タマ子・仲村妙子・神山穂紫乃・
 大城美由紀・松原和美・金城貴子・当真良子・金城しの・知念亜希)
 地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会③・琉球箏曲興陽会③
 歌三線：○上原睦三・金城力・大城博子・又吉由美子・宮里一人
 箏：前西原暎子・我喜屋孝子・名護みのり

笛：宇保朝輝 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：森田佐知夫

④グループ（19名）

玉城流扇寿会⑩（中島政子・赤嶺美智子・大嶺園子・小渡和道・金城弘子・田中綾乃・金城奈津子・生田明子・長山真由美・渡久地寂・大城直江・山川昭子・桑木久美江・平田真智子・池間隼人・金城真次）

玉城流華豊の会③（上原きみ子・照屋正江・神谷三千代）

地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会④・琉球箏曲興陽会④

歌三線：○濱元盛爾・花城英樹・島袋朝夫・横目大哉・神谷大輔・大嶺雅規

箏：佐渡山久江・新垣君子・香取美恵子

笛：清村まり子 胡弓：嶺井敦弘 太鼓：横目大通

⑤グループ（5名）

玉城流いずみ会③（真喜志恵子・又吉聖子・吉元路）、

玉城流てだの会②（玉城侑香李・石川直也）

地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会⑤・琉球箏曲興陽会⑤

歌三線：○瑞慶覧長仁・幸喜信明・宮里政栄・源河徳淳・玉城義廣

箏：米須幸子・稲福貴子・比嘉敏江

笛：清村まり子 胡弓：石川清二 太鼓：儀間マサエ

⑥グループ（11名）

宮城本流鳳乃會（嘉手苺幸代・宮城能香・宮城能麗・宮城能乃・諸見里春代・比嘉侑子・嘉手苺林一・古謝徳子・新垣悟・新里春加・照屋由紀乃）

地謡：琉球古典音楽安富祖流絃聲会⑥・琉球箏曲興陽会⑥

歌三線：○糸数一雄・渡名喜康広・金城武・花城吉治・比嘉寿朗

箏：大城智史・宮里秀明

笛：宇保朝輝 胡弓：石川清二 太鼓：與儀朋恵

⑦グループ（7名）

柳清本流④（外間清子・牧志智子・新城恵子・永山玲緒奈）、

真南風流③（金城恵美子・金城博恵・宮城美佐子）

地謡：野村流音楽協会①・琉球箏曲興陽会⑦

歌三線：○島袋功・比嘉康夫・宮城厚博・比嘉三男・吉元博昌

箏：赤嶺芳枝・新川陽子・知念千香子

笛：崎原盛次 胡弓：崎原盛勇 太鼓：神山常夫

⑧グループ（15名）

玉城流七扇会⑦（岸本正子・大城常政・平岡孝子・浜川真由美・上地美智子・神谷武史・伊野波礼子）、

玉城流敏風会⑤（島袋ゆかり・外間智子・松田勝江・城間末子・諸喜田千華）、

玉城流喜納の会①（伊波正江）、玉城流喜利の会②（西村利江子・西村綾乃）

地謡：野村流音楽協会②・琉球箏曲興陽会⑧

歌三線：○久場良昌・西村正吉・宮平永次郎・新地幸一・與那覇徹

箏：石川洋子・久手堅直子・宮城秀子

笛：崎原盛次 胡弓：崎原盛勇 太鼓：久志大樹

⑨グループ（6名）

玉城流寿宜の会①（森久美）、玉城流翠扇会①（阿嘉修）、

玉城流千壽の会①（平川文子）、玉城流煌扇会②（又吉啓子・新垣麻里子）、

玉城流琉扇会①（平田智之）

地謡：野村流音楽協会③・琉球箏曲興陽会⑨

歌三線：○山内昌也・真栄喜清次・平良春吉・名城一幸

箏：松川加代子・小底明美・宮城豊子

笛：真地利尚 胡弓：当真嗣友 太鼓：宮里和希

⑩グループ（12名）

宮城流美能留会③（宮城早苗・松田恵・金城保子）、

宮城流薫風の会②（赤嶺正一・佐久本稔）、

宮城流豊舞会②（宮城小寿江・小嶺和佳子）、

朱日流⑤（平良須賀子・知花小百合・多和田美幸・宮城尚子・宮城由紀子）

地謡：野村流音楽協会④・琉球箏曲興陽会⑩

歌三線：○城間盛秋・宮城勝秀・崎濱秀光・名渡山兼一・崎濱秀貴

箏：仲松恒子・知念佐代子・比嘉陽子

笛：真地利尚 胡弓：当真嗣友 太鼓：横目大通

2月28日（土）

⑪グループ（9名）

安座間本流⑥（新垣満子・伊禮門喜美子・屋宜恵美子・大湾三瑠・久手堅一子・

山城垂矢乃)、渡嘉敷守良流①(児玉由利子)、
貞扇本流①(山内小夜)、山田流球美之会①(山内喜美枝)
地謡:野村流音楽協会⑤・琉球箏曲興陽会⑩
歌三線:○仲順利治・新里好清・前川元・仲村渠達也
箏:上原妙子・下地睦子・宮城敬子
笛:知念久光 胡弓:又吉真也 太鼓:護得久枝美

⑫グループ(9名)

阿波連本流啓扇会④(阿波連蘭子・屋比久節子・金城文子・赤嶺秀子)、
啓船本流①(松田邦子)、宮城流①(宮城茂雄)、
宮城流能里の会①(嘉数道彦)、宮城流優舞の会①(宮城能舞)、
宮城元流①(宇座仁一)
地謡:野村流音楽協会⑥・琉球箏曲興陽会⑫
歌三線:○内間悦子・長嶺ルーシー・儀保明美・山内ルリ子
箏:具志堅道子・神谷淳子
笛:知念久光 胡弓:又吉真也 太鼓:兼島順子

【前之浜・与那原・坂原】

⑬グループ(10名)

島袋本流紫の会(山里孝子・伊禮秀子・瀬底愛子・比嘉睦江・野田裕子・前里博美・
花城江美子・具志典子・花城真紀子・宮城由美子)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会①・琉球箏曲興陽会⑬
歌三線:○下茂門勝・桃原廣政・伊波三郎・伊禮均・宮原弘和
箏:金城加津恵・大城チヨ子・仲大千咲
笛:照屋正 胡弓:又吉真也 太鼓:久志大樹

⑭グループ(11名)

真踊流(真境名由佳子・入嵩西道子・佐藤麗子・翁長律子・金城洋子・安谷屋ヨネ子・
喜納かおり・大田文代・我那覇明子・仲本のり子・山城道子・安仁屋智永子)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会②・琉球箏曲興陽会⑭
歌三線:○渡久山英男・金城清一・渡久山春憲・泉川寛・仲村逸夫
箏:島袋美智子・金城貴美子・高江洲初子
笛:照屋正 胡弓:森田夏子 太鼓:宮里和希

⑮グループ(7名)

太圭流華の会④(金城光枝・金城陽一・孤島丘奈・屋比久舞衣)
藤の会③(新崎恵子・呉屋かなめ・松田香織)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会③・琉球箏曲保存会①
歌三線:○山城暁・宮城欣也・喜納昌盛・田港朝弘・宮城赳
箏:喜久村克子・松永敬子
笛:仲田治巳 胡弓:森田夏子 太鼓:神山常夫

⑯グループ(9名)

大城流寿乃会③(大城好枝・城間千恵美・徳元美幸)
重踊流③(砂邊美智子・波照間永子・津波ありさ)、八擘流①(友寄春美)
紅倫の会①(照屋倫子)、輝和会(新垣和代)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会④・琉球箏曲保存会②
歌三線:○金城栄五郎・神谷好弘・池原憲彦・新里清文・新垣俊道
箏:比嘉淳江・喜屋武初江 笛:仲田治巳 胡弓:祖堅信義 太鼓:與儀朋恵

⑰グループ(10名)

島袋流千尋会③(比嘉政子・末吉ヤスエ・島袋光尋)
世舞会③(根間教子・金城幸子・佐辺良和)
かなの会①(高嶺久枝)、にぬふあぬ会①(平良律司子)
穂花会②(亀浜律子・川満香多)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会⑤・琉球箏曲保存会③
歌三線:○金城タケ子・浦崎清子・糸数春美・上原トミ子・池原三致子・神谷美枝子
箏:赤嶺スエ子・上原幸子・新垣宜子
笛:座波雪子 胡弓:祖堅信義 太鼓:神山常夫

⑱グループ(6名)

舞芸・さら①(座喜味正子)、麗澄の会①(津覇澄子)
美和の会②(座喜味千枝子・国場涼太)、無憂華の会②(石川詩子・山田玲子)
地謡:琉球古典音楽野村流保存会⑥・琉球箏曲保存会④
歌三線:○勝連繁雄・糸数正男・新垣浩・池原朝雄・神谷乗成
箏:末吉弘子・知名幸子
笛:喜舎場孫好 胡弓:宇江城栄 太鼓:久志大樹

【坂原・前之浜・与那原】

⑱グループ（7名）

宗家眞境名本流眞薫会⑦（仲田弥生子・多和田奈江子・比嘉さつき・比嘉かおり・石垣恵・仲田かおり・仲真あけみ）

地謡：琉球古典音楽野村流松村統絃会①・琉球箏曲保存会⑤

歌三線：○赤嶺武志・上地政春・与那嶺豊・宮城竹茂

箏：知名勝子・城間良子

笛：喜舎場孫好 胡弓：宇江城栄 太鼓：森田佐知夫

⑳グループ（10名）

眞境名本流③（眞境名英美・眞境名律弘・喜屋武愛香）

道扇流道扇会⑦（赤嶺光子・新屋敷孝子・武富美智子・藤戸絹代・與奈嶺奈津子・金城由美子・兼次孝子）

地謡：琉球古典音楽野村流伝統音楽協会①・琉球箏曲保存会⑥

歌三線：○中村昌光・潮平浩佑・國吉啓介・謝敷アンヘル

箏：比嘉玲子・島袋喜美子・池間北斗

笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：儀間マサエ

㉑グループ（9名）

松含流⑥（山入端直美・山城小百合・比嘉智香子・仲本ひろみ・野原エリサ・

松川好美）、渡嘉敷流守藝の會①（金城光子）

渡嘉敷流あけぼの乃会②（花岡尚子・棚原由里子）

地謡：琉球古典音楽野村流伝統音楽協会②・琉球箏曲保存会⑦

歌三線：○前原信喜・仲宗根盛次・山城充幸・宮平光英・新垣和則

箏：平良マサエ・中村美智子・桃原和枝

笛：座波雪子 胡弓：玉那覇昌子 太鼓：横目大通

②選定保存技術「結髪（沖縄伝統芸能）」伝承者養成事業

事業総額：1,160千円（国1,106千円、県59千円、保持者40千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：古波蔵佐紀（雅号 小波則夫）

伝承者：古波蔵ひろみ 田口博章

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

場 所：自宅工房

事業内容：結髪（沖縄伝統芸能）は、沖縄の伝統芸能で役柄に相応しい伝統的な髪を結い上げる技術である。

(1) 伝承者養成事業

沖縄の伝統的な髪型の中から、成人男子の髪型であり、組踊や琉球舞踊、沖縄芝居等で汎用されるカタカシラを習得させた。琉球王国時代の男子の髪は、現在は行われない「中剃り」「中切切り」をして、髪のを調整した。この「中剃り」「中切り」に代わるやり方として、（小波師が）考案した「中組カタカシラ」の結髪を教授した。

また、士族と百姓のカタカシラの違い、さらに現在汎用されている「カツラ結い」と古来の「ケーシ（返し）結い」も教授した。特に髻の大きさ、位置は身分を表現する条件であるため、細やかに教授した。

(2) 記録の作成及び刊行事業

技術普及のためのリーフレットと、技術伝承のための教則ビデオを作成した。

③選定保存技術「組踊道具・衣裳製作修理」伝承者養成事業

事業総額：7,209千円（国7,000千円、県94千円、保存会115千円）

実施方法：国・県補助による保存会直営事業

事業主体：組踊道具・衣裳製作修理技術保存会

技術者：道具 金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原順子

衣裳 糸満和美

伝承者：道具 渡邊優子 名渡山也子 金城小百合 新垣克

衣裳 山田幸子

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

場 所：各技術者の工房

事業内容：組踊道具・衣裳製作修理は、沖縄の伝統芸能である「組踊」で使用される各種の道具と、各役柄に応じた伝統的な衣裳を製作し、修理する技術であり、国の重要無形文化財「組踊」の保存に欠くことが出来ない。

(1) 伝承者養成事業

道具：組踊道具の製作をした。技術者の4名（金城裕幸 新垣孝 平田智之 上原順子）が、

伝承者の4名（渡邊優子 佐渡山也子 金城小百合 新垣克）を指導し、468回の研修を行った。

(2) 技能、技術の錬磨

県内外にある作品・素材・技術（舞台公演を含む）を見学し、その知見を作品、技術に反映させた。

④ 県指定無形文化財「琉球歌劇」伝承者養成事業

事業総額：1,138千円（県648千円、保存会491千円）

実施方法：県補助による琉球歌劇保存会直営事業（会長：平良進）

事業内容：歌劇「菖蒲の由良記」作・渡嘉敷守良、歌劇「報い川」作・親泊興照を、技能保持者の指導のもと、22名の伝承者が研修し、その成果を発表した。

事業期間：平成27年1月10日～平成27年3月17日

研修：平成27年1月30日（金）～3月17日（水）12日（研修発表会を含む）

発表会：平成27年3月17日（火） 沖縄市民小劇場あしびなー 18：30開演

演目：歌劇「菖蒲の由良記」作・渡嘉敷守良、歌劇「報い川」作・親泊興照

指導者：泉賀寿子 伊良波冴子 久高将吉 平良進 瀬名波孝子 仲宗根盛次 中曾根律子
真榮田文子 宮良良子 吉田妙子 与座朝惟 与座ともつね 与座喜美子

研修者：安次嶺利美 新垣正弘 石嶺哲 糸数きよし 大城常政 翁長俊輔 嘉陽田朝裕
金城清徳 国吉亜希子 國吉次子 小嶺和佳子 米須弥生 島袋ゆかり 高宮城実人
知念勝三 中村志津子 普久原明 前川勝子 山川宗春 与座幸賢 与座朝奎
与座正恵

⑤ 県指定無形文化財「沖縄伝統音楽野村流」伝承者養成事業

事業総額：308千円（県100千円、保存会208千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽野村流保存会直営事業（会長：玉城政文）

事業内容：伝承者養成研修会を実施し、保持者による技能指導を行った。

事業期間：平成26年9月11日～平成26年11月29日

第1回伝承者研修会：平成26年9月15日（月） 国立劇場おきなわ大稽古室（参加人員124名）

保持者：宮城嗣幸 金城タケ子 城間徳太郎 玉城政文 知花清秀 古堅宗太郎 前川朝文
山城柳太郎 糸数善昭 大城米雄 岸本善吉 喜瀬慎仁 國吉正康 座安盛善
照屋勝義 仲宗根善久 中村一雄 比嘉謙次 比嘉恒夫 富名腰義春 宮城健
諸見里安次 宇座嘉憲

伝承者：宇栄原宗真 上原三郎 金城繁 玉城巖 比嘉康夫 福地優 古堅宗明 松田盛重
親里光雄 神田米三 宮城勝秀 喜友名朝徳 山田義夫 宮里究一 比嘉三男
松本幸繁 内間悦子 松田博治 真壁朝慶 名嘉山精健 上間克美 佐久田朝雄
長浜眞勇 銘苺良光 城間盛秋 浦崎直吉 糸数昌治 渡名喜庸徳 吉野久一
松田盛 多和田眞一 新地幸一 吉元博昌
赤嶺ミヨ 池原憲彦 上原靖弘 儀間良和 松田義雄 桑江廣 宮城康明 仲村春善
一橋恒夫 米須清信 高江洲昌弘 田場盛幸 勝連繁雄 佐久本盛明 桃原広政
小度常雄 大城清雄 渡久山英男 大湾朝重 親里幸雄 下茂門勝 新垣一雄
仲本喜至 金城清一 比嘉義勝 知花昌誠 玉那覇昭二 宮城越 宮城幸盛
譜久原朝次郎 浦崎清子 稲嶺盛律 糸数春美 上原トミ子 松田邦昭 田港朝弘
嘉味田朝和 仲村一史 新垣親栄 池原朝雄 浜比嘉宗一 上原良秀 宇根良則
宮城信子 比嘉俊雄 糸数正男 仲宗根盛栄
金城善雄 砂辺孝真 前原信喜 神谷盛幸 首里良三 仲宗根盛次 金城幸浩
玉城利和 大城紀子 潮平浩佑 吉元重雄 具志盛義 仲宗根巴津美
赤嶺登喜夫 与那嶺豊 上地政春 與那嶺芳夫
幸喜信正 比嘉清 國場秀治

第2回伝承者研修会：平成26年11月29日（土） 国立劇場おきなわ大稽古室（参加人員131名）

保持者：金城タケ子 城間徳太郎 玉城政文 知花清秀 古堅宗太郎 前川朝文 山城柳太郎
大城米雄 岸本善吉 國吉正康 座安盛善 照屋勝義 仲宗根善久 比嘉謙次
比嘉恒夫 富名腰義春 宮城健 諸見里安次

伝承者：宇栄原宗真 内間安勇 上原三郎 金城繁 玉城巖 平良薫 比嘉康夫 福地優
古堅宗明 神田米三 宮城勝秀 山田義夫 宮里究一 比嘉三男 宮城澄雄
比嘉三男 喜友名宏 内間悦子 宮里孝夫 真壁朝慶 名嘉山精健 長浜眞勇
宮里宏 銘苺良光 佐喜眞光雄 伊佐ヒサ子 糸数昌治 渡名喜庸徳 吉野久一
松田盛 多和田眞一 平川善喜 山城正俊 喜友名朝清 池宮城克成 普天間安弘
佐久本兼和 玉栄眞光
赤嶺ミヨ 池原憲彦 儀間良和 島袋盛一 山城暁 桑江廣 宮城康明 仲村春善
一橋恒夫 米須清信 勝連繁雄 佐久本盛明 桃原広政 小度常雄 金城栄五郎

大城清雄 渡久山英男 大湾朝重 親里幸雄 下茂門勝 宮城欣也 末吉政利
 新垣一雄 上原伸浩 仲本喜至 金城清一 比嘉義勝 知花昌誠 玉那覇昭二
 宮城起 宮城幸盛 譜久原朝次郎 新垣浩 浦崎清子 稲嶺盛律 糸数春美
 上原宏子 上原トミ子 松田邦昭 田港朝弘 伊禮均 仲宗根裕 仲村一史
 安次嶺正雄 新垣親榮 池原朝雄 浜比嘉宗一 黒島惇 新垣晃久 神谷清一
 宮城信子 比嘉俊雄 糸数正男 宮里弘和 仲宗根盛栄
 金城善雄 前原信喜 首里良三 金城幸浩 玉城利和 大城典子 大城次郎
 潮平浩佑 吉元重雄 具志盛義
 赤嶺登喜夫 宮城竹茂 与那嶺豊 赤嶺武志 上地政春
 仲田治巳 又吉真也 祖堅信義 比嘉清 比嘉聰

⑥県指定無形文化財「沖縄伝統音楽安富祖流」伝承者養成事業

事業総額：306千円（県100千円、保存会206千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽安富祖流保存会直営事業（会長：照喜名朝一）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会を実施した。また、文化的知識を深め、資質の向上を図る目的に専門家、研究家講師を招聘し特別講演会を実施した。

事業期間：平成26年7月20日～平成27年3月31日

（伝承者研修会 第4日曜日 10:00～12:00 又は 13:00～15:00）

特別講演会（保持者・伝承者研修）：

日時：平成26年7月27日（日）10:00～12:00 場所：浦添市産業振興センター（結の街）

講師：幸喜良秀氏 講話内容：「演出の仕事」

伝承者研修会

平成26年7月27日～平成27年3月22日 第4日曜日 10:00～12:00 または 13:00～15:00

テーマ：「伝統音楽の研究」

回数	開催日	内容・研修場所	備考
1	7月27日	特別講演会 講師：幸喜良秀氏 「演出の事後と」 浦添市産業振興センター（結の街）	
2	7月27日	伊野波節 稲まづん節 浦添市産業振興センター（結の街）	研修指導 保持者
3	8月24日	茶屋節 十七八節 清屋節 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
4	8月24日	暁節 瓦屋節 赤さこほでさ節 国立劇場おきなわ中稽古室	研修指導 保持者
5	9月28日	暁節 瓦屋節 作田節 早作田節 眞玉橋公民館	研修指導 保持者
6	9月28日	茶屋節 すき節 作田節 早作田節 赤田風節 暁節 散山節 眞玉橋公民館	研修指導 保持者
7	10月26日	本花風節（舞踊曲一鎖） すず節 国立劇場おきなわ小1稽古室	研修指導 保持者
8	11月23日	首里節 諸鈍節 干瀬節 子持節 揚七尺節 国立劇場おきなわ小1稽古室	研修指導 保持者
9	12月28日	茶屋節 すき節 作田節 早作田節 赤田風節 暁節 散山節 国立劇場おきなわ小1稽古室	研修指導 保持者
10	平成27年 1月25日	茶屋節 すき節 作田節 早作田節 赤田風節 暁節 散山節 国立劇場おきなわ小1稽古室	研修指導 保持者
11	2月22日	茶屋節 すき節 作田節 早作田節 赤田風節 暁節 散山節 国立劇場おきなわ大稽古室	研修指導 保持者
12	3月22日	今年度のおさらい 国立劇場おきなわ小2稽古室	研修指導 保持者

伝承者：赤嶺良雄 赤嶺正男 東江糸雄 安次嶺律子 安富祖忠章 阿良行晴 新井孝雄
 新垣一雄 新垣一典 新垣正次 新垣昇 新垣博史 新垣光枝 新垣ユリ子
 新田宗雪 池城やよい 池宮城直子 石垣正代 石川清二 石川眞成 泉谷墨
 伊泊辰夫 伊良波さゆき 伊禮淳子 上原達雄 上原麻美 上原繁三 上原常宏
 上原睦三 上原康秀 上原洋子 上原司 内間繁 宇保朝輝 浦崎康伸 運天伊作
 大城聡 大城節子 大城貴幸 大城竹秀 大城朝清 大城博子 大城真利子
 大城清順 大田陽則 大嶺雅規 大山一郎 岡村芳邦 垣花盛功 勝連達也
 我那覇常允 神谷大輔 川武未香 岸本剛 喜名正勝 喜屋武肇 喜屋武博
 金城康昌 金城盛夫 金城佳隆 金城力 國仲貴光 源河徳淳 幸喜信明

小浜博文 齊藤新一 佐久本盛扶 座波千代子 澤井每里子 設楽清美 島袋朝夫
 島袋元一 島袋常正 下地実夫 城間恒子 新垣安弘 新城薫 新垣亘
 瑞慶覧朝孝 瑞慶覧長仁 瑞慶覧洋子 砂川昌徹 平良大 平良真子 高原吉孝
 高良幸行 澤岷安優 竹田祐規 田中洋子 田淵愛子 玉城和樹 玉城直樹
 玉城善樹 玉城直樹 玉城善廣 田港保弘 知花昌和 知花柳盛 照喜名正亀
 照喜名朝國 通事彰 當間重利 渡名喜康広 富山嘉宏 豊里美保 名嘉安信
 仲原正治 名嘉眞由紀子 仲嶺良盛 仲本鶴助 名城米三 荷川取志麻 西江康
 西田一雄 西村勉 花城英樹 比嘉弘英 比嘉洋子 比嘉順実 比嘉暢哉
 平田永哲 平田邦夫 平山元 富名腰乃 真榮城玄俊 又吉由美子 松田武夫
 松本紀 満名清 嶺井敦弘 嶺井須賀子 宮里一人 宮里政栄 宮里敏則
 本永朝昭 山根安行 横目大哉 横山太陽 與座盛康 與那國太介 与那原良治
 与那嶺茂春 饒平名希乍子 和田信一 久貝哲夫 川崎仙子 中嶋一仁 平木澄恵
 平木裕一 平木桂子 山川雅之 陳美奈 笹谷正一 嶺井政仁 照喜名智 安森晃
 名嘉眞都香 平良萬吉 桑江要 具志幸大 知念幸代 座波千代子 比嘉寿朗
 島元努 新城卓也 儀間朝栄 大城進 宮良圭蔵 安立良平 伊良皆高吉
 川野辺幸雄 鈴木寛人 外山弥呂 南雲仁 行田勝蔵 井口梓 内間崇平
 奥山明子 栗山新也 中曾始 仲村元一 沖充 鈴木博 谷口賢一郎 土橋正信
 金城順市 西原茂勝 仲村起市 比嘉静子 大城善盛 嘉陽田朝純 金城政順
 仲盛康 野底忠

⑦県指定無形文化財「沖縄伝統音楽箏曲」伝承者養成事業

事業総額：315千円（県100千円、保存会215千円）

実施方法：県補助による沖縄伝統音楽箏曲保存会直営事業（会長：上地尚子）

事業内容：保持者の指導による伝承者養成研修会（3回）、並びに実演家による特別講演会を実施し、技能の向上と沖縄の伝統音楽についての理解を深めた。

事業期間：平成26年5月28日～平成27年3月31日

研修会：平成26年6月25日（水）、9月30日（火）、平成27年2月18日（水）

場 所：国立劇場おきなわ大稽古室

指導者：上地尚子 中嶋絹枝 山内好子 安里ヒロ子 宮城光子 赤嶺弘子

特別講演会：平成26年2月26日（水） 国立劇場おきなわ大稽古室

講師：仲嶺貞夫（県指定無形文化財 沖縄伝統音楽箏曲保持者）

演題：「稲嶺盛淳没後三百年記念事業の意義と推進」

伝承者：仲眞竹子 儀間武子 許田恵美子 具志堅孝子 大道タケ子 名嘉ヨシ子 神谷和枝

上地律子 知念佐竹子 手登根廣美 久田ヨシ子 平良マサエ 上間千枝子

中村美智子 城間良子 具志堅初美 比嘉博明 新田邦子 松田勝子 宇良タカ子

崎原ノリ 高江洲初子 野村時子 玉城弘子 名嘉真直子 仲間頼子 澤岷京子

新垣晴子 仲村貞子 美里登喜子 上地吉子 仲本泰子 山城ヨシ子 長田京子

仲宗根順子 中村富子 上間節子 名嘉ハツ 波平エミ子 伊波治代子 諸見里キミ

牧港和子 山川幸子 中山民子 米須幸子 比嘉敏江 与座末子 高江洲順子

佐渡山久江 久手堅順子 宮城秀子 神谷広美 宮城ミサ子 宮里秀明 翁長ミサ子

新本澄子 比嘉良子 島袋喜美子 桃原フミ子 比嘉美恵子 桃原和枝 松永敬子

末吉弘子 大城清子 喜屋武初江 山城真理子 金城君江 知名初江 渡久地美智子

天久洋子 稲福明子 稲福貴子 上地アキ子 宇良和子 大嶺トシ子 奥原幸子

我部米子 喜屋武通子 具志堅道子 下地睦子 下里恵 諸見田恵子 玉城俊子

田島美智子 玉城久子 玉城明子 知念千香子 知念利恵子 友寄千枝子 當間公子

渡久地タマ 仲宗根和子 中山清子 長浜まさ子 仲宗根玲子 仲村渠道子

辺戸名規子 外當光子 前川美也子 宮城光子 宮城裕子 屋良敏子 山田愛

與儀博子 新垣末子 赤嶺スキ子 新垣照子 新崎每子 石嶺達子 伊波敏子

糸数君江 伊良皆順子 上原幸子 大城恵津子 岳原美智子 川平京子 具志堅蓉子

国吉裕子 潮平信子 島袋節子 島尻郁江 平良久枝 知念英子 知花初子

知名幸子 照屋貞子 仲村ハル子 中村ゆり子 真喜志美奈子

(2) 芸 能（組踊等普及啓発事業）

①組踊特別鑑賞会（全国公演）・・・国庫補助事業

[趣 旨] 全国各地で重要無形文化財「組踊」を鑑賞する機会を設け、その一層の普及・伝承を図る。

[普及公演] 組踊を広く一般に周知するため、全国6カ所で公開する。

[事業主体] 一般社団法人伝統組踊保存会
[実施方法] 国・県補助による保存会直営事業
[事業内容] 組踊1題、琉球舞踊4題を上演し、組踊の概要等を野原格及び島元要（県教育庁文化財課指導主事）が解説した。字幕を投影し、演目解説書を観客に配布した。
開催地、開催日時及びプログラムは次のとおりである。

ア 山梨県富士川町 富士川町ますほ文化ホール 平成26年6月28日（土）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 富士川町 富士川町教育委員会
後援／NHK甲府放送局 山梨日日新聞社 YBS山梨放送 UTYテレビ山梨

第1部：琉球舞踊 「老人老女」嘉手川林一・高江洲清勝 「若衆こてい節」新垣悟・呉屋悟
「下り口説」川満俊祐 「天川」宮城能鳳

第2部：組踊「執心鐘入」

[配役] 中城若松（新垣悟）、宿の女（宮城能鳳）、座主（嘉手川林一）、小僧1（儀保政彦）、
小僧2（川満俊祐）、小僧3（呉屋智）、黒子1（嘉手川幸代）、黒子2（根路銘広美）

[地謡] 歌・三線（前川朝文、山城暁、金城光信、喜瀬学）

箏（高良時江）、笛（喜舎場孫好）、胡弓（山城英雄）、太鼓（喜舎場盛勝）

イ 長崎県平戸市 平戸文化センター 大ホール 平成26年7月20日（日）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 平戸市

共催／平戸市教育委員会 平戸市文化協会 生月町文化協会 田平町文化協会 大島村文化協会
後援／長崎県教育委員会 朝日新聞社 長崎新聞社 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎
NCC文化放送

第1部：琉球舞踊 「老人老女」赤嶺正一・大湾三瑠 「若衆こてい節」岸本隼人・玉城匠
「下り口説」神谷武史 「天川」海勢頭あける

第2部：組踊「花売の縁」

[配役] 森川の子（神谷武史）、乙樽（海勢頭あける）、鶴松（森山康人）、猿引（玉城匠）
猿（神谷武之心）、薪取（赤嶺正一）、黒子1（上原信次）

[地謡] 歌・三線（西江喜春、上間宏敏、玉城和樹）

箏（宮城秀子）、笛（大湾清之）、胡弓（川平賀道）、太鼓（神山常夫）

ウ 和歌山県御坊市 御坊市民文化会館 大ホール 平成26年9月23日（火）午後3時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会

御坊市民文化会館指定管理者（株）ハートス

共催／御坊市 御坊市教育委員会

第1部：琉球舞踊「老人老女」儀保政彦・金城陽一 「若衆こてい節」石川直也・上原信次
「下り口説」天願雄一 「天川」田口博章

第2部：組踊「護佐丸敵討」

[配役] 中城若松（石川直也）、宿の女（田口博章）、座主（天願雄一）、小僧1（儀保政彦）、
小僧2（金城陽一）、小僧3（上原信次）、黒子1（新垣悟）、黒子2（上原崇弘）

[地謡] 歌・三線（島袋英治、島袋功、江洲眞徳）

箏（安里ヒロ子）、笛（知念久光）、胡弓（崎原盛勇）、太鼓（宇座嘉憲）

エ 徳島県吉野川市 吉野川市鴨島公民館 平成26年10月11日（土）午後2時半開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 吉野川市鴨島公民館

共催／吉野川市教育委員会

後援／徳島県教育委員会 吉野川市 NHK徳島放送局 徳島新聞 朝日新聞徳島総局
読売新聞徳島支局 毎日新聞徳島支局 日本中央テレビ ケーブルネットおえ

第1部：琉球舞踊「老人老女」宮里徹雄・伊野波盛人 「若衆こてい節」嘉数道彦・宮城茂雄
「下り口説」稲嶺清彦 「天川」眞境名律弘

第2部：組踊「護佐丸敵討」

[配役] あまおへ（玉城盛義）、鶴松（嘉数道彦）、亀千代（宮城茂雄）、母（眞境名律弘）、
供1（宮里徹雄）、供2（伊野波盛人）、供3（稲福清彦）、
きやうちやこ持（岸本隼人）

[地謡] 歌・三線（照喜名朝一、玉城正治、照喜名進、上原陸三）

箏（山内照子）、笛（宇保英明）、胡弓（銘菰春政）、太鼓（比嘉聰）

オ 福岡県太宰府市 プラム・カルコア太宰府（太宰府市中央公民館） 市民ホール

平成26年11月16日（日）午後2時開演

主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 太宰府市 太宰府市教育委員会
 後援／福岡県 福岡県教育委員会 (公財)太宰府市文化スポーツ振興財団
 第1部：琉球舞踊「老人老女」金城清一・嘉手苺林一 「若衆こてい節」金城真次・上原信次
 「下り口説」安次嶺浩和 「天川」名嘉正光
 第2部：組踊「花売の縁」
 [配役] 森川の子(宇座仁一)、乙樽(金城真次)、鶴松(古堅聖也)、猿引(嘉手苺林一)、
 猿(古堅聖尚)、薪取(眞境名正憲)、黒子1(上原信次)、黒子2(安次嶺浩和)
 [地謡] 歌・三線(喜瀬慎仁、山城暁、城間盛久、宇栄原宗勝)
 箏(屋嘉比桂子)、笛(嘉数世勲)、胡弓(新城清弘)、太鼓(金城盛松)

カ 三重県御浜町 御浜町中央公民館 平成26年12月7日(日)午後2時開演
 主催／一般社団法人伝統組踊保存会 沖縄県教育委員会 御浜町文化協会
 共催／御浜町教育委員会
 第1部：琉球舞踊「老人老女」山入端實・前當正雄 「若衆こてい節」親泊久玄・玉城匠
 「下り口説」親川良信・當山力 「天川」島袋光尋
 第2部：組踊「護佐丸敵討」
 [配役] あまおへ(親泊興照)、鶴松(親泊久玄)、亀千代(玉城匠)、母(島袋光尋)、
 供1(山入端實)、供2(前當正雄)、供3(親川良信)、きやうちやこ持(當山力)
 [地謡] 歌・三線(中村一雄、首里良三、砂辺孝真、国吉啓介)
 箏(上地尚子)、笛(宮城英夫)、胡弓(比嘉清)、太鼓(国場秀治)

②児童生徒の組踊等沖縄伝統芸能鑑賞会・・・県単独事業

[趣 旨] 児童生徒に郷土芸能への理解と関心を深めさせ、組踊等沖縄伝統芸能の県内への普及啓
 発を図るとともに、若手実演家の活動の機会を増やすことによって、後継者の育成を図
 る。

[実施方法] 沖縄県教育委員会が、組踊と琉球舞踊を宮城能鳳組踊研に委託した。

[事業内容] 上演演目：組踊及び沖縄伝統芸能(沖縄芝居・琉球舞踊)
 解 説：演目解説書を児童生徒全員に配布し、演目概要等の解説を行った。

[実演団体] 組 踊：宮城能鳳組踊研究会
 沖縄芝居：沖縄芝居研究会

[開演時間] 午後2時開演

[鑑賞校等] 鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり。

ア 鑑賞校(鑑賞人数)：県立北山高等学校(314人) 日時：平成26年10月23日(木)
 会場：今帰仁村コミュニティセンター

第1部：琉球舞踊「貫花」嘉手苺幸代
 「上り口説」呉屋智

第2部：組踊「執心鐘入り」

[配役] 若松(浦崎えりか)、宿の女(山城亜矢乃)、座主(嘉手苺林一)、
 小僧1(石川直也)、小僧2(新垣悟)、小僧3(川満俊祐)

[地謡] 歌・三線(與那国太介・横目大哉・和田信一)、箏(仲大千咲)、笛(大城健太郎)
 胡弓(新垣博史)、太鼓(横目太陽)

イ 鑑賞校(鑑賞人数)：豊見城市立上田小学校(222人) 豊見城市立伊良波小学校(196人)
 豊見城市立とよみ小学校(133人) 豊見城市立豊崎小学校(93人)
 (4校合同合計644人)

会場：豊見城市中央公民館 日時：平成27年1月28日(水)

第1部：琉球舞踊「加那よ一天川」平敷勇也・知念亜希
 「金細工」赤嶺啓子・伊良波さゆき 福島千枝
 「揚作田」貫花：嘉手苺幸代

第2部：時代舞踊歌「割符(わいふ)」

[配役] 若^{わか}按^あ司^じ(嘉数道彦)、ウトゥミ(儀間佳和子)、神山のアヤ(赤嶺啓子)、
 真^ま加^か戸^と(知念亜希)、真^ま鶴^{ちる}(福島千秋)、高志保(金城真次)、
 美佐志保(平敷勇也)、神山家の下男(玉城匠)、王妃調べの女(大城常政)、
 西森の神(伊良波さゆき)

[地謡] 歌・三線(仲宗根創)、箏(仲大千咲)、笛(澤井每里子)

③組踊等教育普及事業・・・沖縄県特別推進交付金事業

[趣 旨] 日常生活において、組踊等沖縄の無形文化財(芸能)を鑑賞する機会の少ない児童・生
 徒に対し、これを公演し観賞させることによって、郷土の無形文化財(芸能)への理解

と関心を深めさせ、これを保存継承する社会的基盤の形成を図る。

[実施方法] 沖縄県教育委員会が、平成26年度「組踊等教育普及事業」共同事業体に委託した。

[実演団体] 平成26年度「組踊等教育普及事業」共同事業体

代表者：一般社団法人 ステージサポート沖縄

構成員：沖縄伝統組踊「子の会」

構成員：オキナワステージプラン

[事業内容] 組踊とこれに関連する琉球舞踊、琉球古典音楽、及び沖縄芝居等の本県独自の無形文化財を鑑賞機会の少ない県内の児童生徒のために公演することにより、その教育普及を推進し次世代への保存継承を目的としている。公演にあたっては、児童・生徒により関心をもってもらうため、ワークショップ（WS）等の取組も実施する。

1. 組踊公演

第1部：解説（45分）

(1) 組踊の歴史の説明

(2) 芸能としての様式を児童生徒を舞台にあげて体験学習的に説明

(3) 組踊の所作の基になった舞踊を披露

(4) 本編のダイジェスト版による説明

第2部：組踊「執心鐘入」（45分）

2. ワークショップ（WS）

(1) 組踊の三要素（音楽・衣裳・踊り）と歴史についての解説

(2) 古典音楽「かぎやで風節」の実演

(3) 組踊独特の印象的な表現の体験（男女の愛の交歓）

(4) 衣裳小道具（鬼面）の試着と表現の体験

(5) 「仮名がけ」の実演（唱えと音楽のコンビネーション）

(6) 所作（歩み）の体験

[鑑賞校等] 鑑賞校、開催日時、出演者は次のとおり。

ア 県立久米島高等学校

【鑑賞会】日 時：12月12日（金）14:00～15:45

場 所：久米島高校体育館

鑑賞人数：292人（生徒234人、職員・保護者・町民56人）

出演者・スタッフ

[立方] 若松（玉城匠）、宿の女（佐辺良和）、座主（川満香多）、
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）、
後見・解説（岸本隼人）

[地謡] 歌・三線（新垣俊道・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（久志大樹）

[スタッフ] 字幕（宮城梓）、照明（崎浜秀司）、音響（上原優貴）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（大野順美）

【WS】日 時：12月11日（木）16:10～17:00

場 所：久米島高校

受講人数：7人

イ 与那国町立与那国中学校

【鑑賞会】日 時：平成27年1月13日（月）14:00～15:45

場 所：与那国中学校体育館

鑑賞人数：174人（与那国中29人、久部良中10人、与那国小23人、
久部良小25人、比川小7人、外80人）

[立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（田口博章）、座主（上原崇弘）、
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）、
後見・解説（川満香多）

[地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（宮里和希）

[スタッフ] 字幕（新城唯子）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）

【WS】日 時：平成27年1月14日（火）

場 所：与那国中学校

受講人数：52人（与那国中29人、久部良中13人、職員10人）

ウ 南大東村立南大東小中学校

【鑑賞会】日 時：平成27年1月27日（火）10:40～12:20

場 所：南大東小学校体育館

鑑賞人数：236人（中学生34人、小学生88人、幼児40人、外74人）

[立方] 若松（玉城匠）、宿の女（田口博章）、座主（川満香多）、

- 小僧1（岸本隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（新垣悟）、
後見（砂川政秀）、解説（岸本隼人）
- [地謡] 歌・三線（新垣俊道・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（玉城和樹）、太鼓（宮里和希）
- [スタッフ] 字幕（横目大哉）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）
- エ 多良間村立多良間小中学校
【鑑賞会】日 時：平成27年2月3日（火）18:30～20:15
場 所：多良間小学校体育館
鑑賞人数：256人（中学生55人、小学生70人、外131人）
- [立方] 若松（親里悟）、宿の女（田口博章）、座主（川満香多）、
小僧1（岸本隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（呉屋智）、
後見（砂川政秀）、解説（岸本隼人）
- [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（久志大樹）
- [スタッフ] 字幕（新城唯子）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）
- 【W S】日 時：平成27年2月4日（水）
場 所：多良間小学校体育館
受講人数：82人（小学生69人、職員13人）
- オ 宮古島市立西城中学校
【鑑賞会】日 時：平成26年2月5日（木）14:00～15:45
場 所：マティダ市民劇場
鑑賞人数：199人（西城中43人、久松中45人、上野中29人、伊良部中24人、外58人）
- [立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（佐喜眞一輝）、座主（川満香多）、
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）、
後見（嘉数幸雅）、解説（玉城匠）
- [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（久志大樹）
- [スタッフ] 字幕（新城唯子）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）、記録映像（松田稔）、
記録写真（大城洋平）
- カ 県立宮古総合実業高等学校
【鑑賞会】日 時：平成26年2月6日（金）14:00～15:45
場 所：マティダ市民劇場
鑑賞人数：489人（生徒420人、外65人）
- [立方] 若松（岸本隼人）、宿の女（佐喜眞一輝）、座主（川満香多）、
小僧1（池間隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（玉城匠）、
後見（嘉数幸雅）、解説（玉城匠）
- [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（久志大樹）
- [スタッフ] 字幕（新城唯子）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）、記録映像（松田稔）、
記録写真（大城洋平）
- キ 竹富町立上原小学校
【鑑賞会】日 時：平成27年2月19日（木）14:00～15:40
場 所：西表島 中野わいわいホール
鑑賞人数：134人（上原小22人、西表小中22人、白浜小17人、古見小14人、
船浮小中6人、外53人）
- [立方] 若松（親里悟）、宿の女（田口博章）、座主（川満香多）、
小僧1（岸本隼人）、小僧2（宮城昭博）、小僧3（呉屋智）、
後見（砂川政秀）、解説（岸本隼人）
- [地謡] 歌・三線（玉城和樹・喜納吏一・仲尾勝成）、箏（池間北斗）、
笛（入嵩西諭）、胡弓（大濱麻未）、太鼓（久志大樹）
- [スタッフ] 字幕（新城唯子）、照明（崎浜秀司）、音響（比屋根徹）、
舞台監督（山本茂樹）、制作（宮城梓）
- 【W S】日 時：平成27年2月20日（金）9:35～10:35
場 所：上原小学校体育館
受講人数：29人（上原小22人、外7人）

(3) 工芸技術

① 重要無形文化財の伝承者養成事業

ア) 重要無形文化財「喜如嘉の芭蕉布」伝承者養成事業

事業総額：7,597千円（国 7,000千円、県 150千円、村 436千円、保存会 11千円）

実施方法：国・県・大宜味村補助による保存会直営事業

事業主体：喜如嘉の芭蕉布保存会（会長：平良敏子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 技能保持者 5 人、修了生 7 名で、平成 25 年度までの受講生 7 名と新人 1 名を対象に個人個人の熟練度に応じた技術指導を実施した。本年度行った技術は以下の通り。

- 1) 芯止め・葉打ち、2) 苧倒し・苧引き・苧炊き、3) 緋結び、4) 染色、5) 撚り掛け、6) 整経、7) 製織、8) 洗濯・仕上、9) 苧績み

講師：平良敏子（染色、芯止め、葉打ち、製織）、平良美恵子（芯止め、葉打ち、撚り掛け、整経、製織、苧倒し・苧炊き、苧引き）、
辺土名加代子（緋結び、芯止め、葉打ち）、平良京子、宮城涼子、大城章子、山城雪枝（苧倒し・苧炊き、苧引き）、翁長洋子（緋結び）、
山城洋子（製織）、當眞廣子（洗濯）

伝承者：内藤京子（10）、大城絹恵（7）、吉田木綿（7）、加藤泉（4）、
前田明子（3）、稲福和歌子（2）、山城薫（1）、神谷美香（1）

* 伝承者氏名に続く（ ）内の数字は受講回数を示す。以下同様。

事業期間：平成 26 年 6 月 9 日～平成 27 年 3 月 24 日

場所：大宜味村立芭蕉布会館

② 全重協秀作展での視察研修を行った。

(2) 資料収集整理事業

① 芭蕉布形態模造煮綴花織芭蕉布、古芭蕉布の購入をおこなった。

(3) 技術研究事業

① 奄美大島宇検村に所在する芭蕉布（シバサシギン）の調査をおこなった。

② 竹富島の蒐集館所蔵の芭蕉布の調査をおこなった。

(4) 原材料・用具の整備事業

良質の糸芭蕉を確保するため、芭蕉畑除草の委託を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

イ) 重要無形文化財「宮古上布」伝承者養成事業

事業総額：8,535千円（国 8,000千円、県 171千円、市 250千円、保持団体 114千円）

実施方法：国・県・宮古島市補助による保持団体直営事業

事業主体：宮古上布保持団体（代表者：新里玲子）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

① 本年度は、図案・手括り（講師 2 名、伝承者 3 名）、染色（講師 1 名、伝承者 2 名）、織り（講師 1 名、伝承者 2 名）、砧打ち（講師 1 名、伝承者 1 名）の 4 部門において実施した。

また、外部講師（与那覇洋子、藤原絹代）を招いて「和裁－仕立から見た反物・着付け」についての特別講義を実施した。

講師：下地達雄、垣花英好（図案・手括り）、平良清子（染め）、

木村三子（織り）、砂川猛（砧打ち）

伝承者：松堂初美（3）、平良享子（3）、山里充代（2）、島袋恵（3）、
長濱政子（5）、親里恵（2）、羽地美由希（1）、砂川一人（4）

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月25日

場所：指導者自宅工房及び研修生自宅

②全重協秀作展の見学研修を実施した。

(2) 資料の収集整理

宮古上布（古布）を資料として購入した。

(3) 技術研究

大正・昭和時代を代表する下地恵康氏らの緻密で絵画的な手括り宮古上布の再現を行う。今年度は織り（平良洋子、木村三子、各1反）を委託した。

(4) 原材料・用具の確保

砧台・木槌の製作、砧台メンテナンス、原木の製材を行った。

(5) その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 重要無形文化財「久米島紬」伝承者養成事業

事業総額：8,233千円（国8,000千円、県165千円、町54千円、保持団体14千円）

実施方法：国・県・久米島町補助による保持団体直営事業

事業主体：久米島紬保持団体（代表者：山城宗太郎）

事業内容：

(1) 伝承者養成事業

①養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織の伝承者養成講座を実施した。

②養蚕は、4名の講師で伝承者10名に桑の葉の取り方から上族まで毎日2～3回の桑の葉の与え方や、上族の時期等の講習を行った。

③織りは、4名の講師で行った。絹糸作り、糸つむぎ、真綿作りは、4名の講師でケンネル（座繰り機）を用いた糸作り、作った真綿からの糸引き、撚糸機による寄りのかけ方等の講習を行った。

講師：山城宗太郎（養蚕）、

桃原禎子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ、製織）

宮平トシ子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、製織）

幸地綾子（養蚕、絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ）

高坂エミ子（絹糸作り、真綿作り、糸つむぎ）

山城ハツ（糸つむぎ）

新垣勝秀、宇江城ヤス子（製織）

伝承者：山城智子（8）、我那覇ケイ子（8）、平田とき子（8）、

古堅ヨシエ（8）、神里智江（8）、島袋佐枝（8）、大田広美（8）、

儀間勝枝（8）、吉永ルリ子（8）、佐久田康子（8）

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

場所：久米島紬の里ユイマール館

④全重協秀作展の見学研修、沖縄県立博物館・美術館が所蔵する古い久米島紬の調査及び研修を行った。

(2) 原材料・用具の確保

養蚕に必要な桑畑の管理委託を行った。

(3) その他

①文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

②国選定保存技術の伝承者養成事業

ア) 選定保存技術「琉球藍製造」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：2,260千円（国1,106千円、県225千円、町100千円、保持者829千円）

実施方法：国・県・本部町補助による保持者直営事業

事業主体：伊野波盛正（保持者）

事業内容：琉球藍は沖縄の染織品の製作には不可欠な原材料で、現在、選定保存技術保持者である伊野波盛正が唯一の製造者である。藍の製造は自然環境に左右されやすく、安定した供給と高い品質を維持するためには藍葉の栽培・管理と高度に熟練した藍製造の技術が要求される。藍の製造は年2回（6月、11月）行われるが、今年度は染料としての藍の品質を決定する藍（リュウキユウアイ）の栽培管理に重点を置き、藍葉の植付け、施肥、除草、刈入れ、熟成・発酵、沈澱・濾過の藍製造の一連の技術錬磨の事業を実施した。同時に、5名の伝承者養成を行った。

伝承者：玉城昭正、小橋川茂、比嘉清、平安山良恒、仲村浩

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月27日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場

イ) 選定保存技術「琉球藍製造」伝承者養成事業

事業総額：6,495千円（国6,000千円、県85千円、町400千円、保存会10千円）

実施方法：国・県・町補助による保存会直営事業

事業主体：琉球藍製造技術保存会（会長：伊良波幸秀）

事業内容：

（1）伝承者養成事業

①伝承者2名に対して、藍製造技術の伝承者養成及び技術・技能の向上のための指導を行った。作業工程は以下の通りである。

1）藍葉植え付け、2）施肥、3）除草、4）刈り入れ、5）熟成・発酵、6）沈殿・濾過

講師：伊野波盛正（泥藍製造、藍葉育成）

伝承者：竹山安秀、仲西利夫

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月27日

場所：伊野波盛正の藍畑・工場及び各藍葉農家の畑

②琉球紺の工房・組合、知花花織の組合等にて藍染めの視察研修を行った。

（2）技術技能の錬磨事業

①藍草の栽培について、会員6名の技術技能の錬磨を行った。

②技術技能の錬磨に必要な資材（防風ネット、支柱等）の購入を行った。

③コンボをリースし、畑地整備をおこなった。

（3）その他

文化庁調査官及び沖縄県教育庁文化財課専門員の指導を実施した。

ウ) 選定保存技術「手機製作」技術錬磨及び伝承者養成事業

事業総額：1,289千円（国1,106千円、県128千円、保持者55千円）

実施方法：国・県補助による保持者直営事業

事業主体：大城義政（保持者）

事業内容：手機製作は、手織り用の木製の機（織機）を製作する技術であり、染織品の工芸技術を支える重要な用具製作技術である。長期間乾燥させた木材を使用し、各部材を製材・整形し、組み立てる。この一連の工程には、木材に関する深い知識・加工技術が必要であり、さらに織機の構造・機能、手機（織物）技術に対する理解と知識が要求される。本年度は、手機製作にかかる全工程を伝承者1名に伝授した。

伝承者：大城伸悟

事業期間：平成26年4月5日～平成27年3月25日

場所：大城織機製作所

③沖縄県指定無形文化財の伝承者養成事業

ア) 県指定無形文化財「びん型」伝承者養成事業

事業総額：426千円（県320千円、保存会106千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統びん型保存会（代表：城間榮順）

事業内容：古びん型から学ぶことをテーマに、特殊な技法で型紙製作（糸掛けによる型紙）または型紙を使用して染めるびん型（白地型びん型、返し型びん型、染地型びん型、臙型びん型、二重型びん型）、型紙を用いず、糊袋に糊を入れ白生地の上に模様を描いて染める筒描きびん型（風呂敷・幕・タペストリー）のいずれかの指導を行った。

各工程については次のとおりである。

- 1) 下絵、2) 型紙彫り／糊袋作成、3) 型置き／筒描き、4) 色差し、5) 糊伏せ、6) 地染め

講師：城間榮順、知念績元、喜友名盛蔵

伝承者：城間榮市（4）、知念績人（4）、喜友名速（18）

事業期間：平成26年11月1日～平成27年3月31日

場所：各保持者工房

イ) 県指定無形文化財「本場首里の織物」伝承者養成事業

事業総額：347千円（県259千円、保存会88千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：沖縄伝統本場首里織物保存会（代表：祝嶺恭子）

事業内容：「花倉織」の全工程（製図から製織まで）の技術指導を実施した。各工程については次のとおりである。

- 1) 意匠設計、2) 糸精錬、3) 経糸染色、4) 経糸糊つけ、5) 経糸繰返し、6) 整経、7) 仮箆通し、8) 経巻き、9) 花綜統作り、10) 紹綜統作り、11) 綜統通し、12) 花綜統通し、13) 紹綜統通し、14) 箆通し、15) 織付け、16) 緯糸染色、17) 緯糸小管巻き、18) 製織、19) 整理仕上げ

講師：祝嶺恭子、多和田淑子、ルバース・ミヤヒラ吟子

伝承者：古屋英子（9）、溝渕幸恵（8）、玉木由香（5）、今帰仁桃子（6）、山城麻希子（3）

事業期間：平成26年11月4日～平成26年12月26日

場所：各保持者工房

ウ) 県指定無形文化財「読谷山花織」伝承者養成事業

事業総額：448 千円（県 337 千円、保存会 111 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：読谷山花織保存会（代表：比嘉恵美子）

事業内容：染色した糸を用い、製織(着尺)を指導した。

講師：比嘉恵美子、島袋秀、池原ケイ子

伝承者：島袋明美（19）、比嘉昌子（7）、山田恵利子（7）

事業期間：平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日

場所：各保持者工房

エ) 県指定無形文化財「八重山上布」伝承者養成事業

事業総額：426 千円（県 320 千円、市 60 千円、保存会 46 千円）

実施方法：県・市補助による保存会直営事業

事業主体：八重山上布保存会（代表：新垣幸子）

事業内容：講師 5 名で伝承者 3 名に対し、手括り、捺染の技を受講生の経験に応じて指導した。中村澄子氏の工房では着尺に統一して指導した。新垣幸子氏の工房では、前年同様苧麻の苧倒しから苧引きや紡ぎ方を講習の一環として組み込み、糸数江美子氏と共に帯地の指導をした。また、今年度は八重山藍の仕込み方、花織や細織の組み合わせの指導も行った。松竹喜生子氏の工房では、ブー績みを講習に組み込み、平良蓉子氏と共に帯地の指導をした。

講師：中村澄子、新垣幸子、糸数江美子、平良蓉子、松竹喜生子

伝承者：中村雪江（4）、島袋知佳子（1）、浦崎しなこ（1）

事業期間：平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 2 月 27 日

場所：各保持者工房

オ) 県指定無形文化財「琉球漆器」伝承者養成事業

事業総額：349 千円（県 262 千円、保存会 87 千円）

実施方法：県補助による保存会直営事業

事業主体：琉球漆器保存会（代表：前田孝允）

事業内容：講師 2 人で昨年度から継続の各伝承者（沈金 2 人、箔絵・螺鈿 1 人）に技術・技法と同時に琉球漆器の歴史、特性等を教授した。各工程は以下の通りである。

- 1) デザイン、2) 沈金彫り／螺鈿切り、3) 沈金摺漆／螺鈿貝貼り、4) 沈金仕上げ／螺鈿貝塗り（数回繰り返す）、
- 5) 螺鈿仕上げ／箔絵描き、6) 金箔貼りで仕上げ

講師：金城唯喜、前田孝允

伝承者：前田貴子（18）、国吉亮子（18）、前田栄（8）

事業期間：平成 26 年 11 月 11 日～平成 27 年 3 月 25 日

場所：各保持者工房

3. 民俗文化財

(1) 民俗文化財

① 沖縄の信仰用具に関する総合調査事業

事業総額：5,000,000円（国4,000,000円、県1,000,000円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：沖縄県教育委員会

事業期間：平成26年5月15日から平成27年3月31日（平成24年度から平成26年度まで3年間継続の事業を1年延長して充実を図る）

事業目的：沖縄県は祖先祭祀が盛んな地域であり多様な民間信仰がみられる。祖先祭祀や民間信仰に関するものとして家の位牌や祭具があり、村落においては土帝君や石獅子、石敢當、ビジュルなど独特な信仰対象が各地域に残されている。本調査は、沖縄県全域を対象とした信仰と習俗に係る総合調査を行い、その実態の把握と各地域に現存する信仰用具等の状態、文化的価値等を明らかにし、有形民俗文化財の保護・活用に向けた基礎資料とすることを目的とする。

実施場所：県内全域（沖縄本島、本島周辺離島、宮古諸島、八重山諸島）

事業概要：調査地を、沖縄本島北部・中部・南部・及び周辺離島、宮古諸島、八重山諸島に区分し、文化財調査嘱託員及び調査協力員が信仰用具に関する総合調査を行った。

調査委員：赤嶺政信（琉球大学法文学部教授）

上江洲均（元久米島自然文化センター館長）

稲福みき子（沖縄国際大学総合文化学部教授）

波平エリ子（沖縄国際大学南島文化研究所特別研究員）

板井英伸（沖縄大学地域研究所特別研究員）

前田一舟（うるま市立海の文化資料館学芸員）

本永清（県文化財保護審議会第5専門部会（民俗文化財）委員）

調査協力員：4名

② 第56回九州地区民俗芸能大会（国庫補助事業）

事業総額：2,366,200円（国1,183,000円 県1,183,200円）

事業種別：国庫補助事業

事業主体：第56回九州地区民俗芸能大会実行委員会（福岡県教育委員会、佐賀県、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、沖縄県教育委員会、読谷村教育委員会）

事業目的：九州・沖縄地区に伝承されている民俗芸能について、伝承活動を行っている個人・団体に対して発表の機会を提供し、その継承の意欲の維持向上に資するとともに、広く一般の人々に公開し、その鑑賞をとおして民俗芸能への理解と認識を深め、無形民俗文化財の保存と振興を図り、併せて上演芸能の記録を作成する。

大会名称：第56回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成26年11月23日（日）

開催場所：読谷村文化センター 鳳ホール（700席）

派遣芸能：九州各県から1団体、開催県（沖縄県）から2団体

事務局：事務局は、沖縄県教育庁文化財課

出演演目：プレイイベント

	芸 能 名	出演団体
1	ちくたるめー 作田米	ながはまこどもかい 長浜子ども会 (沖縄県)
2	はんじやぼう 波平棒	はんじやこどもぼうじゆつ 波平子ども棒術クラブ (沖縄県)
3	とげしししまい 渡慶次獅子舞	とげしこどもししまい 渡慶次子ども獅子舞クラブ (沖縄県)

出演演目：公演

	芸 能 名	出演団体
1	うえきみさるおどり 植木三申 踊	うえきみさるおどりほぞんかい 植木三申 踊 保存会 (福岡県)
2	かせ うらしし ふりゆう 嘉瀬ノ浦獅子浮立	かせ うらしし ふりゆうほぞんかい 嘉瀬ノ浦獅子浮立 保存会 (佐賀県)
3	さむらいおどり にせおどり 士 踊 (二才踊)	さむらいおどりほぞんかい 士 踊 保存会 (鹿児島県)
4	おんだけりゆうかぐら 御嶽流神楽	おんだけかぐら 御嶽神楽 (大分県)
5	ぎまふえーぬしま 儀間南ヌ島	ぎまでんとうぶようほぞんかい 儀間伝統舞踊保存会 (沖縄県)
6	なかえ いわとかぐら 中江の岩戸神楽	なかえいわとかぐらほぞんかい 中江岩戸神楽保存会 (熊本県)
7	いがたはながさおど 伊形花笠踊り	いがたはながさおど ほぞんかい 伊形花笠踊り保存会 (宮崎県)
8	いきつきいさなとりうた 生月勇魚捕歌	いきつきいさなとりうたほぞんかい 生月勇魚捕歌保存会
9	たかしほんまめー 高志保馬舞	たかしほんまめーほぞんかい 高志保馬舞保存会

※ 九州各県から1団体、開催地県は2団体

③ 第56回九州地区民俗芸能大会 (県単独補助事業)

事業総額：52,560円 (県 50,000円 団体 55,120円)

事業種別：県単独補助事業

事業主体：読谷村儀間区伝統芸能保存会、読谷村馬舞保存会

大会名称：第56回九州地区民俗芸能大会

開催期日：平成26年11月23日(日)

開催場所：読谷村文化センター 鳳ホール (700席)

派遣芸能：①儀間南ヌ島

読谷村儀間の「南ヌ島」は、かつて南蛮貿易(琉球の東南アジア貿易)が盛んな時代に伝来したという口碑があり「支那踊り」ともよばれている。沖縄戦後は、集落ごと米軍に接收され、一時途絶えてしまったが、復帰後に土地が返還されたのを期に、かつて演者であった古老たちの記憶を頼りに採譜を行い、復活させた。地謡の歌にあわせて空手や棒術の所作などの入った演舞を行う。途中で独特の声を発し、飛び上がる所作がある。歌詞は現在では意味が不明になっている。

②高志保馬舞

読谷村高志保の「高志保馬舞」は、古くから伝わる祈願奉納の芸能で、五穀豊穰、無病息災を願い、読谷村字高志保の男たちだけが、字内でのみ舞うことができる門外不出の芸能であった。琉球王朝時代、大和から渡ってきた芸能者たちが祝い事や余興で披露していた「門付け芸」が高志保にも伝わり、それを原型として独自の『馬舞』が創作されたと伝えられる。「馬舞節」「馬舞揚節」「馬舞大揚節」「切早作田節」の節歌にのせて厳かに、時にユーモラスに演舞する。

4. 記念物

(1) 史跡・名勝・文化的景観

本県における国指定の史跡・名勝（特別名勝、国の登録記念物を含む）及び県指定の史跡・名勝の件数は合計116件（平成27年5月1日現在）である。今後も貴重な文化財の適切な保護と保存、活用を図るために、指定文化財の件数を増やしていく必要がある。

史跡・名勝等の復元整備等については、現在、国・県の指定文化財を中心に進めている。平成26年度は国指定史跡「フルスト原遺跡」、「浦添城跡」、「玉城城跡」、「勝連城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「銘苅墓跡群」、特別名勝「識名園」、名勝「伊江殿内庭園」、「伊江御殿別邸庭園」、県史跡・名勝「首里金城町石畳道」、名勝「宜野湾市森の川」において保存整備事業を実施した。また史跡等総合活用支援推進事業としては、国指定史跡「知念城跡」、「具志川城跡」（久米島町）、「中城城跡」、「今帰仁城跡附シイナ城跡」、「内間御殿」、「具志川城跡」（糸満市）においてそれぞれ実施した。史跡等買上事業（直接買上）では国指定史跡「勝連城跡」、「今帰仁城跡」、「中頭方西海道及び普天満参詣道」、「島添大里城跡」にて実施した。

「伊江御殿別邸庭園」、「伊礼原遺跡」については先行取得償還で実施した。史跡等保存管理計画策定事業は国指定史跡「宇江城城跡」「勝連城跡」、「佐敷城跡」、名勝「八重干瀬」でそれぞれ実施した。また今帰仁村において「文化的景観保護推進事業」として今泊の集落的景観事業を実施した。

①受託事業

発掘調査事業

- ・「首里城跡」発掘調査及び資料整理業務

内閣府沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所の公園整備事業に伴うもので、平成26年度は「南城郭エリア」の発掘調査を実施するとともに、「料理座・大台所地区」・「銭蔵地区」・「銭蔵東地区」・「御内原東地区」・「正殿地区」出土の資料整理を行った。

- ・「海軍病院建設予定地内発掘調査」資料整理業務

本事業は、防衛省の海軍病院建設事業に伴う緊急発掘調査で、平成26年度は、これまでの調査の成果をまとめて、発掘調査報告書の刊行に向け資料整理を行った。

事業主体：沖縄県

事業経費：124,616,000円

②国庫補助事業

ア) 史跡等の土地買上げ事業

- a) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：うるま市

事業経費：8,683,890円（国6,945,000円、県146,000円、市1,592,890円）

買上げ実：723.23㎡ 2筆

- b) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：今帰仁村

事業経費：35,299,870円（国28,113,000円、県597,000円、村6,589,870円）

買上げ実績：13,630.00㎡ 29筆

- c) 事業名：史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等購入（直接買上）事業

事業主体：浦添市

事業経費：15,132,746円（国2,771,746円、県256,000円、市3,027,746円）

買上げ実績：592.03㎡ 3筆

- d) 事業名：名勝「伊江御殿別邸庭園」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：那覇市

事業経費：106,179,000円（国84,943,000円、県1,805,000円、市19,431,000円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

- e) 事業名：史跡「伊礼原遺跡」史跡等買上げ（先行取得償還）事業

事業主体：北谷町

事業経費：189,879,720円（国151,903,000円、県3,227,000円、町34,749,720円）

買上げ実績：平成23年度より10年間にわたり起債等による借入金を国・県の補助を得て年次計画で償還していく。

イ) 史跡・名勝の保存整備事業

- a) 事業名：史跡「フルスト原遺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業

事業主体：石垣市

事業経費：8,987,505円（国7,188,000円、県188,000円、市1,611,505円）
事業内容：○第3号・第15号石塁間の遺構確認のための発掘調査を実施した。
○史跡指定範囲南西部に位置する大石御嶽の東側から第1号石塁南側で面積1,070㎡を縮尺1/100、等高線20cmの微地形測量と第4号石塁・第15号石塁間で写真測量、樹木の伐採及び搬出を委託で実施した。
○第3号・第15号石塁間トレンチの平板測量及び座標設置を実施した。
○遺構確認調査終了後に、各トレンチの空撮を行った。
○第3号・第15号石塁間の東側部分の芝張りを工事請負で実施した。
○出土遺物の資料整理作業（主に遺物の洗浄、出土地点の注記）を実施した。

◇ フルスト原遺跡整備委員会

①平成26年11月10日（石垣市教育委員会会議室）

②平成27年2月19日（石垣市教育委員会会議室）

- b) 事業名：史跡「浦添城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：浦添市
事業経費：35,756,392円（国28,604,000円、県750,000円、市6,402,392円）
事業内容：○内郭西地区の遺構確認のための発掘調査を実施した。
○出土遺物の資料整理（洗浄・分類・接合等）を実施した。
○浦添ようどれ上部の転落防止柵設置工事を実施した。

◇ 浦添城跡整備委員会

①平成27年1月27日（浦添城跡）

- c) 事業名：史跡「玉城城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：南城市
事業経費：9,691,353円（国7,751,000円、県203,000円、市1,737,353円）
事業内容：○石塁修復の設計監理を委託で実施した。
○石塁修復工事を実施した。

◇ 玉城城跡整備委員会

①平成26年9月12日（南城市大里庁舎）

②平成27年2月12日（南城市大里庁舎・玉城城跡）

- d) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：うるま市
事業経費：31,769,300円（国25,414,000円、県667,000円、市5,688,300円）
事業内容：○西原御門付近の遺構調査を実施した。
○二の曲輪基壇部積み直し、三の曲輪仮設階段設置工事、四の曲輪歩道舗装工事を実施した。

◇ 勝連城跡整備委員会

①平成26年10月24日（うるま市民芸術劇場会議室、勝連城跡）

②平成26年11月17日（うるま市民芸術劇場会議室、勝連城跡）

③平成27年3月25日（うるま市民芸術劇場会議室、勝連城跡）

- e) 事業名：「識名園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：那覇市
事業経費：45,752,034円（国36,600,000円、県959,000円、市8,193,034円）
事業内容：○御殿屋根修復工事を請負で実施した。
○御殿屋根修復工事現場監理業務を委託で実施した。
○心宇池の水の浄化作業を委託で実施した。

- f) 事業名：「伊江殿内庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：那覇市
事業経費：2,863,766円（国2,289,000円、県59,000円、市515,766円）
事業内容：○遺物整理を直営で実施した。
○樹木の伐採を委託で実施した。

- g) 事業名：「伊江御殿別邸庭園」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体：那覇市
事業経費：1,225,000円（国980,000円、市245,000円）
事業内容：○指定地内の発掘調査を直営で実施した。

h) 事業名 : 史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体 : 浦添市
事業経費 : 6,136,450円(国4,880,000円、県128,000円、市1,128,450円)
事業内容 : ○赤皿ガー及びその周辺の発掘調査を直営で実施した。
○当山橋については、レーザーによる三次元測量を委託で実施した。

i) 事業名 : 「銘苅墓跡群」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体 : 那覇市
事業経費 : 1,824,420円(国1,458,000円、市366,420円)
事業内容 : ○指定地内の石積修復工事、樹木の伐採を直営で実施した。

◇ 銘苅墓跡群整備委員会

①平成27年3月23日(那覇市消防本部4階会議室)

j) 事業名 : 「円覚寺跡」史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業
事業主体 : 事業主体 : 那覇市
事業経費 : 事業経費 : 2,322,000円(国1,857,000円、市465,000円)
事業内容 : 事業内容 : ○指定地内の石積修復工事を直営で実施した。

ウ) 史跡等総合活用支援推進事業(史跡等)

a) 事業名 : 史跡「知念城跡」史跡等総合活用支援推進事業(史跡等)
事業主体 : 南城市
事業経費 : 15,201,000円(国12,160,000円、県319,000円、市2,722,000円)
事業内容 : ○南西側城壁修復工事設計委託業務・修復工事監理業務を委託で実施した。
○西側斜面地質調査、写真測量を委託で実施した。
○城郭南西側城壁内側石積の一部取り外しを工事請負で実施した。

◇ 知念城跡現場検討会及び整備委員会

①平成26年7月9日(知念城跡)
②平成27年2月26日(南城市知念図書館)
③平成27年3月23日(知念城跡)

b) 事業名 : 史跡「具志川城跡」史跡等総合活用支援推進事業(史跡等)
事業主体 : 久米島町
事業経費 : 10,161,408円(国8,128,000円、県213,000円、町1,820,408円)
事業内容 : ○保存修理の根拠を得るため、三の郭外郭東側斜面の発掘調査を実施した。
○保存修理工事に伴う設計監理業務、出土考古資料再整理業務、誘導表示板制作業務、三の郭外郭写真測量業務を委託で実施した。
○発掘調査や整備委員会の審議結果に基づき、三の郭外郭東側上部の石材解体を実施した。
○町民に対して現地説明会を開催した。

◇ 具志川城跡整備委員会

①平成26年11月16日(久米島博物館講堂及び具志川城跡)
②平成27年2月25日(久米島博物館講堂及び具志川城跡)

c) 事業名 : 史跡「具志川城跡」史跡等総合活用支援推進事業(史跡等)
事業主体 : 糸満市
事業経費 : 20,358,767円(国16,285,000円、県427,000円、町3,646,767円)
事業内容 : ○城門虎口の保存修理を直営で実施した。
○レーザ測量を委託で実施した。
○報告書作成を委託で実施した。

◇ 具志川城跡整備委員会

①平成27年7月29日(糸満市庁舎及び具志川城跡)

d) 事業名 : 史跡「中城城跡」史跡等総合活用支援推進事業(史跡等)
事業主体 : 中城村
事業経費 : 44,005,067円(国32,000,000円、県924,000円、村7,881,067円)
事業内容 : ○一の郭西側城壁南側、西の郭北側で発掘調査を実施。
○出土遺物の資料整理を実施した。
○平成26年度整備工事の実施設計を委託で実施。

○一の郭基壇遺構の図化、岩盤動態状況調査、金属保存処理、地形現況測量、移動変形調査、石垣カルテ作成を委託で実施した。
○一の郭西側城壁南側の積み直し、城壁の枅門から南の郭へと向かう通路の石積の修復を請負で実施した。

◇ 中城城跡整備委員会及び現地指導

①平成26年7月29日（中城城跡・中北消防署）

e) 事業名：史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

事業主体：今帰仁村

事業経費：35,283,332円（国28,224,000円、県740,000円、村6,319,332円）

事業内容：○馬車道舗装整備工事を請負で実施した。
○平郎門前の発掘調査、大隅城壁崩落箇所の調査を直営で実施した。
○修理工事の測量設計、カーザフ地区城壁の写真測量を業者請負で実施した。

◇ 今帰仁城跡整備委員会及び現地指導

①平成26年8月8日（今帰仁村歴史文化センター 談話室）

②平成27年2月26日（今帰仁城跡附シイナ城跡）

f) 事業名：史跡「内間御殿」史跡等総合活用支援推進事業（史跡等）

事業主体：西原町

事業経費：17,748,267円（国14,197,000円、県358,000円、町3,193,267円）

事業内容：○北東隅石牆の崩落石回収、北西・南西石牆の一部解体を業者請負で実施した。
○大型土嚢袋を石牆の外壁沿いに設置した。
○東江御殿敷地内西側一帯のフクギの根の張りだし状況を一部委託で実施した。

◇ 内間御殿整備委員会及び現地指導

①平成26年9月25日（西原町立図書館）

②平成26年10月29日（西原町立図書館）

③平成27年3月13日（西原町立図書館）

エ) 史跡等保存管理計画策定事業

a) 事業名：史跡「宇江城城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：久米島町

事業経費：4,558,816円（国3,638,000円、県94,000円、町826,816円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。
○宇江城城跡及び関連文化財に関する資料を収集し、報告書を刊行した。

◇ 宇江城城跡保存管理計画策定委員会

①平成26年9月17日（久米島町立博物館）

②平成26年11月20日（久米島町立博物館）

③平成27年3月4日（久米島町立博物館）

b) 事業名：名勝「八重干瀬」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：宮古島市

事業経費：3,500,840円（国2,800,000円、市700,840円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者、地域の代表者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を3回実施した。
○26年度の総括として中間報告書を作成した。

◇ 八重干瀬保存管理計画策定委員会及び現地視察

①平成26年5月1日（宮古島市城辺庁舎）

②平成26年11月20日（宮古島市城辺庁舎）

③平成27年2月20日（宮古島市城辺庁舎）

c) 事業名：史跡「勝連城跡」史跡等保存管理計画策定事業

事業主体：うるま市

事業経費：4,807,495円（国3,845,000円、県100,000円、市862,495円）

事業内容：○学識経験者、関連行政担当者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を2回実施した。
○中間報告書を刊行した。

◇ 勝連城跡保存管理計画策定委員会

①平成26年10月21日（うるま市民芸術劇場会議室及び勝連城跡）

②平成27年2月23日（うるま市民芸術劇場会議室及び勝連城跡）

- d) 事業名：史跡「佐敷城跡」史跡等保存管理計画策定事業
事業主体：南城市
事業経費：11,023,164円（国8,818,000円、県231,000円、市1,974,164円）
事業内容：○学識経験者、関連行政担当者を保存管理計画策定委員に委嘱し、保存管理計画策定委員会で保存管理計画の審議を2回実施した。
○土地境界測量を委託で実施した。
○中間報告書を刊行した。
- ◇佐敷城跡保存管理計画策定委員会
①平成26年12月25日（南城市大里庁舎及び佐敷城跡）
②平成27年3月6日（南城市大里庁舎及び佐敷城跡）

③県事業

- a) 事業名：史跡「円覚寺跡」史跡等保存修理事業
事業主体：沖縄県
事業経費：9,887,000円
事業内容：○基本設計を委託で実施した。
- ◇円覚寺跡整備委員会及び現地指導
①平成26年12月12日（円覚寺跡及び沖縄県立芸術大学会議室）
②平成27年3月12日（円覚寺跡及び沖縄県立芸術大学会議室）

④県補助事業

- ア) 史跡・名勝保存修理事業
- a) 事業名：県指定史跡・名勝「首里金城町石畳道」保存修理事業
事業主体：那覇市
事業経費：600,000円（県240,000円、市360,000円）
事業内容：○県史跡・名勝「首里金城町石畳道」の石の欠損や沈下部分を既存の石畳に準じる工法、材質及び寸法等に倣って、修復を行った。なお、既存の石材が欠損等で使用できない場合は新規石材により補填を行った。
○石畳道の修繕は工事請負で実施した。
○平成26年度の石畳道の修繕は9.56㎡の範囲で行った。
- イ) 管理事業
- a) 事業名：県史跡ミントングスク管理事業
事業主体：南城市
事業経費：100,000円（県40,000円、市60,000円）
事業内容：○県史跡ミントングスクの適切な保存と活用を図るために、文化財指定地域の雑草木の除去及び清掃を史跡管理者に委託で実施した。

⑤史跡・名勝の現状変更等

- 1) 特別名勝「識名園」の現状変更（平成26年5月16日付け26受庁財第4号の105）
那覇市による御殿の西側屋根の改修工事を文化庁が許可。
- 2) 史跡「中城城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の183）
中城村による城壁積み直し等を文化庁が許可。
- 3) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の196）
今帰仁村による馬車道舗装等を文化庁が許可。
- 4) 史跡「フルスト原遺跡」の現状変更（平成26年6月20日付け受庁財第4号の237）
石垣市による発掘調査を文化庁が許可。
- 5) 史跡「首里城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け受庁財第4号の259）
沖縄県立埋蔵文化財センターによる発掘調査を文化庁が許可。
- 6) 史跡「勝連城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の299）
うるま市による発掘調査を文化庁が許可。
- 7) 史跡「知念城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の347）
南城市による石積修復等を文化庁が許可。
- 8) 史跡「中頭方西海道及び普天満参詣道」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の365）
浦添市による発掘調査を文化庁が許可。
- 9) 史跡「浦添城跡」の現状変更（平成26年6月20日付け26受庁財第4号の366）
浦添市による遺構調査等を文化庁が許可。

- 10) 史跡「玉城城跡」の現状変更計画書(包括的現状変更)(平成26年6月30日付け26受庁財第4号の524)南城市による石積修復工事等を文化庁が許可
- 11) 史跡「具志川城跡」の現状変更計画書(包括的現状変更)(平成26年6月30日付け26受庁財第4号の525)中城村による石積み工事等を文化庁が許可。
- 12) 史跡「具志川城跡」の現状変更計画書(包括的現状変更)(平成26年6月30日付け26受庁財第4号の696)糸満市による石積修復及び発掘調査を文化庁が許可。
- 13) 史跡「勝連城跡」の現状変更(平成26年7月18日付け26受庁財第4号の545)うるま市による水道管敷設を文化庁が許可。
- 14) 名勝「伊江御殿別邸庭園」の現状変更(平成26年7月18日付け26受庁財第4号の608)那覇市による試掘調査を文化庁が許可。
- 15) 県名勝「宜野湾市森の川」の現状変更(平成26年8月25日付け沖縄県教育委員会指令第40号)宜野湾市による拝所修復工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 16) 史跡「内間御殿」の現状変更(平成26年9月19日付け26受庁財第4号の1019)西原町による石垣解体工事等を文化庁が許可。
- 17) 史跡「銘苅墓跡群」の現状変更(平成26年9月19日付け26受庁財第4号の1020)那覇市による石積修復等を文化庁が許可。
- 18) 史跡「知念城跡」の現状変更の計画変更(平成26年10月2日付け26受庁財第4号の1240)南城市による計画変更(ボーリング調査等の追加)を文化庁が許可。
- 19) 史跡「座喜味城跡」の現状変更(平成26年9月25日付け沖縄県教育委員会指令第43号)読谷村による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 20) 史跡「中城城跡」の現状変更(平成26年10月15日付け沖縄県教育委員会指令第44号)中城村による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 21) 史跡「中城城跡」の現状変更(平成26年10月15日付け沖縄県教育委員会指令第45号)世界遺産劇場実行委員会による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 22) 県史跡名勝「首里金城町石畳道」の現状変更(平成26年10月22日付け沖縄県教育委員会指令第48号)那覇市による石畳補修工事を沖縄県教育委員会が許可。
- 23) 県史跡「龍潭及びその周辺」の現状変更(平成26年10月27日付け沖縄県教育委員会指令第49号)首里振興会による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可
- 24) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更(平成26年12月4日付け沖縄県教育委員会指令第52号)今帰仁村による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 25) 史跡「今帰仁城跡附シイナ城跡」の現状変更(平成27年1月14日付け沖縄県教育委員会指令第1号)今帰仁村による樹木伐採を沖縄県教育委員会が許可。
- 26) 史跡「勝連城跡」の現状変更(平成27年2月13日付け26受庁財第4号の1801)うるま市による石積修復等を文化庁が許可。
- 27) 史跡「円覚寺跡」の現状変更(平成27年2月13日付け26受庁財第4号の1802)那覇市による石積修復工事を文化庁が許可。
- 28) 史跡「中城城跡」の現状変更(平成27年2月12日付け沖縄県教育委員会指令第4号)グスクロックフェス実行委員会による祭事開催を沖縄県教育委員会が許可。
- 29) 県史跡天然記念物「仲島の大石」の現状変更(平成27年3月31日付け沖縄県教育委員会指令第18号)旭橋都市再開発株式会社による土質調査を沖縄県教育委員会が許可。

(2) 天然記念物

①天然記念物緊急調査(国庫補助事業)

事業名：国指定天然記念物緊急調査(ケナガネズミ)

事業総額：6,612千円(国5,289千円、県1,323千円)

事業主体：沖縄県

事業期間：平成26年4月1日～平成27年3月31日

(平成24年度～平成27年度までの4年間継続事業)

事業目的：沖縄本島北部に生息する国指定天然記念物ケナガネズミについて、生態や個体数など未だ不明な点が多いことから、今後具体的な保護策に寄与するためのデータ集積を目的とした緊急調査を実施する。

調査委員：千木良芳範 元沖縄県立博物館・美術館副館長

久高 将和

久高奈津子

村山 望

中村 智映

吉岡 由恵

新星出版カメラマン

沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員

沖縄こども未来ゾーン運営財団飼育課飼育員

木下 剛志 沖縄市立コザ中学校教諭
丸山 勝彦 沖縄県立南部農林高等学校教諭
知花 史尚 沖縄県立総合教育センター研究主事
城間 恒宏 沖縄県教育庁文化財課指導主事
德里 政哉 沖縄県立那覇高等学校教諭
事務局 : 濱川 靖 沖縄県教育庁文化財課
事業内容 : (1) 調査地 沖縄本島北部地域
(2) 調査項目
a) 生息実態調査
b) 行動観察 (繁殖行動、その他樹上での行動)

②天然記念物食害対策事業 (国庫補助事業)

事業名 : 国指定天然記念物食害対策事業 (ケラマジカおよびその生息地)
事業総額 : 13,381千円 (国8,920千円、県 401千円、座間味村4,060千円)
事業主体 : 座間味村
事業期間 : 平成26年6月5日～平成27年3月25日
(平成25年度～平成28年度までの4年間継続事業)
事業目的 : ケラマジカから農作物等の食害を防止するため「新設のフェンスを設置する事業」と「既存のフェンスが腐食しているため取り壊して新たに新設する事業」である。事業面積は9426.2㎡、延長705mを慶留間島で実施する。ケラマジカは、日中・夜間を問わず餌を求めて農地や集落に出没し、農作物・家庭菜園・花木等を食い荒らして被害をおよぼしていることから、ケラマジカからの農作物の被害を早急に改善する必要がある。また、この事業を実施することによりケラマジカの保全・保護と地域住民との共存共栄ができるように努めなければならない。

③史跡等総合活用支援推進事業 (国庫補助事業)

事業名 : 史跡等総合活用支援推進事業 (名護市嘉陽層の褶曲)
事業総額 : 5,714千円 (国4,560千円、県 119千円、名護市1,035千円)
事業主体 : 名護市
事業期間 : 平成26年4月1日～平成27年3月31日
(平成25年度～平成27年度までの3年間継続事業)
事業目的 : 以前実施された市内遺跡分布調査等における遺物の再整理と台帳の作成を行う。また、名護市内の埋蔵文化財について、その重要性を市民に広く周知するため講演会や勉強会を開催し、遺跡に標柱を設置する。
あわせて、国指定天然記念物「名護市嘉陽層の褶曲」については、新たな見学ルートの検討や除草作業を実施し、より良い環境での公開活用に資する。

④天然記念物関連事業 (県単独事業)

事業名 : 天然記念物指定対象物件調査
事業総額 : 97千円 (県97千円)
事業主体 : 沖縄県
事業期間 : 沖縄県内の天然記念物、ならびに今後指定し保護すべき貴重動物、植物群落及び地質鉱物などのうち保全上の課題を有すると考えられる物件について、現地調査を行い、これらを保護する上で必要な資料・情報を得る。
事業目的 : (1) 調査地 久高島、伊平屋島
(2) 調査項目
a) 保全上の課題を有する物件の現地調査
b) 指定候補物件の現地調査

⑤天然記念物の現状変更等

- 1) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び生態調査)申請 (H26.4.11進達)
申請者(日付): 琉球大学理学部教授 伊澤雅子 (H26.4.7)
許可(期間): 平成26年5月16日付け 26受庁財第4号の63 (許可日～H27.8.31)
- 2) 【国天】指定動物種9種の現状変更(外来種捕獲器設置)協議 (H26.4.25進達)
協議者(日付): 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所長 (H26.4.24)
同意(期間): 平成26年5月16日付け 26受庁財第4号の178 (同意日～H29.5.1)
- 3) 【県天】与那国島宇良部岳ヨナグニサン生息地の現状変更(建設)申請 (H26.5.7許可)
申請者(日付): 与那国町長 外間守吉 (H26.4.18)
許可(期間): 平成26年5月7日付け 沖縄県教育委員会指令第27号 (許可日～H26.10.31)

- 4) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息調査)申請 (H26.5.12許可)
 申請者(日付): 沖縄県土木建築部宮古土木事務所 小橋川透 (H26.4.22)
 許可(期間): 平成26年5月12日付け 沖縄県教育委員会指令第28号 (許可日~H27.3.31)
- 5) 【国天】ヤンバルテナゴコガネの現状変更(生息調査)申請 (H26.5.14許可)
 申請者(日付): 株式会社プレック研究所 代表取締役社長 杉尾邦江 (H26.5.7)
 許可(期間): 平成26年5月14日付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (許可日~H27.10.31)
- 6) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(ウガメ産卵巣調査)申請 (H26.5.12進達)
 申請者(日付): 琉球大学理学部教授 伊澤雅子 (H26.5.8)
 許可(期間): 平成26年6月20日付け 26受庁財第4号の241 (許可日~H27.10.30)
- 7) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び移動)協議 (H26.5.29進達)
 協議者(日付): 内閣府沖縄総合事務局那覇空港・港湾整備事務所長 (H26.5.28)
 同意(期間): 平成26年6月20日付け 26受庁財第4号の422 (許可日~H29.3.31)
- 8) 【県天】ヨナグニサンの現状変更(移動)申請 (H26.5.30許可)
 申請者(日付): 与那国町教育委員会 教育長 崎原用能 (H26.5.27)
 許可(期間): 平成26年5月30日付け 沖縄県教育委員会指令第31号 (許可日~H27.3.31)
- 9) 【県天】嘉津宇岳安和岳八重岳自然保護区の現状変更(試料採取)申請 (H26.6.10許可)
 申請者(日付): 国立沖縄工業高等専門学校 技術室 渡邊謙太 (H26.5.29)
 許可(期間): 平成26年6月10日付け 沖縄県教育委員会指令第29号 (H26.6.20~H27.3.31)
- 10) 【国天】指定動物種9種の現状変更(マングース捕獲器設置)申請 (H26.6.10進達)
 申請者(日付): 沖縄県知事 仲井眞弘多 (H26.6.3)
 許可(期間): 平成26年7月18日付け 26受庁財第4号の481 (許可日~H29.6.30)
- 11) 【県天】両生類3種の現状変更(試料採取)申請 (H26.6.12許可)
 申請者(日付): 千木良芳範 (H26.6.5)
 許可(期間): 平成26年6月12日付け 沖縄県教育委員会指令第33号 (H26.8.1~H29.12.31)
- 12) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(環境影響調査)申請 (H26.6.16進達)
 申請者(日付): 沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H26.4.4)
 許可(期間): 平成26年7月2日付け 26受庁財第4号の523 (許可日~H26.11.28)
- 13) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(工作物【水位計】設置)申請 (H26.6.18許可)
 申請者(日付): 東京工業大学大学院情報理工学研究科教授灘岡和夫 (H26.5.20)
 許可(期間): 平成26年6月18日付け 沖縄県教育委員会指令第34号 (許可日~H26.12.31)
- 14) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(工作物【カメラ】設置)申請 (H26.6.18許可)
 申請者(日付): 株式会社東部交通 代表取締役 玉盛雅治 (H26.5.12)
 許可(期間): 平成26年6月18日付け 沖縄県教育委員会指令第35号 (許可日~H26.12.31)
- 15) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(防護柵設置)申請・報告 (H26.6.19進達)
 申請者(日付): 竹富町長 川満栄長 (H26.5.26)
 許可(期間): 平成26年7月18日付け 26受庁財第4号の609 (許可日~H26.12.31)
- 16) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査)申請 (H26.6.19進達)
 申請者(日付): 琉球大学教育センター 非常勤職員 藤田喜久 (H26.5.30)
 許可(期間): 平成26年7月18日付け 26受庁財第4号の655 (許可日~H27.3月)
- 17) 【国天】ヤンバルテナゴコガネの現状変更(一時捕獲・生態調査)協議 (H26.6.24進達)
 協議者(日付): 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所長 (H26.6.19)
 同意(期間): 平成26年7月18日付け 26受庁財第4号の654 (同意日~H29.3.31)
- 18) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生息状況調査等)協議 (H26.6.24進達)
 協議者(日付): 沖縄防衛局長 武田博史 (H26.6.20)
 同意(期間): 平成26年7月18日付け 26受庁財第4号の653 (同意日~H27.3.31)
- 19) 【国天】指定動物種3種の現状変更(生息調査)申請 (H26.7.7許可)
 申請者(日付): 株式会社南西環境研究所 代表取締役 田中順一 (H26.7.3)
 許可(期間): 平成26年7月7日付け 沖縄県教育委員会指令第36号 (許可日~H27.2.28)
- 20) 【国天】石垣島東海岸の津波石群の現状変更(試料採取)申請 (H26.7.18進達)
 申請者(日付): 東北大学理学研究科地学専攻准教授 中村教博 (H26.4.24)
 許可(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の754 (許可日~H27.3.31)

- 21) 【国天】塩川の現状変更(試料採取)申請 (H26.7.18進達)
 申請者(日付): 沖縄環境分析センター 代表取締役社長 西銘史則 (H26.7.11)
 許可(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の781 (許可日～H27.8.31)
- 22) 【国天】オカヤドカリの現状変更(環境影響調査)申請 (H26.7.28進達)
 申請者(日付): 琉球大学教育センター 非常勤職員 藤田喜久 (H26.7.17)
 許可(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の793 (許可後～H27.3月)
- 23) 【国天】ケラマジカおよびその生息地の現状変更(一時捕獲・緊急保護)申請 (H26.7.28許可)
 申請者(日付): 座間味村教育委員会 教育長 中村光男 (H26.7.24)
 許可(期間): 平成26年7月28日付け 沖縄県教育委員会指令第37号 (許可日～H26.8.31)
- 24) 【国天】与那覇岳天然保護区域の現状変更(コケ植物調査)申請 (H26.8.6進達)
 申請者(日付): 沖縄環境保全研究所 代表取締役 平良辰二 (H26.7.18)
 許可(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の869 (許可日～H27.3.20)
- 25) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(生育状況調査)協議 (H26.8.14進達)
 協議者(日付): 沖縄森林管理署長 岡本一孝 (H26.7.24)
 同意(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の868 (同意日～3カ年)
- 26) 【国天】船浦のニッパヤシ群落の現状変更(モニタリング調査)協議 (H26.8.13進達)
 協議者(日付): 沖縄森林管理署長 岡本一孝 (H26.7.24)
 同意(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の865 (同意日～H29.3.31)
- 27) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲・移動)申請 (H26.8.18進達)
 申請者(日付): 株式会社洗陽電機 代表取締役社長 山本吉大 (H26.7.29)
 許可(期間): 平成26年9月19日付け 26受庁財第4号の973 (許可日～H27.2.28)
- 28) 【県天】クロイワトカゲモドキの現状変更(一時捕獲・移動)申請 (H26.8.18許可)
 申請者(日付): 株式会社洗陽電機 代表取締役社長 山本吉大 (H26.7.29)
 許可(期間): 平成26年8月18日付け 沖縄県教育委員会指令第38号 (H26.10.1～H27.2.28)
- 29) 【県天】コノハチョウの現状変更(捕獲・累代飼育)申請 (H26.8.22許可)
 申請者(日付): 那覇市役所建設管理部公園管理課長 上原克 (H26.8.8)
 許可(期間): 平成26年8月22日付け 沖縄県教育委員会指令第39号 (許可日～H29.3.31)
- 30) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生育調査)申請 (H26.9.3許可)
 申請者(日付): 株式会社イーエーシー 代表取締役 大石哲也 (H26.8.25)
 許可(期間): 平成26年9月3日付け 沖縄県教育委員会指令第41号 (許可後～1年間)
- 31) 【県天】イボイモリの現状変更(一時捕獲・移動)申請 (H26.9.30許可)
 申請者(日付): 株式会社クレアリア 沖縄支店支店長 国平好明 (H26.9.4)
 許可(期間): 平成26年9月30日付け 沖縄県教育委員会指令第42号 (許可日～H27.7.31)
- 32) 【国天】慶佐次湾のヒルギ林の現状変更(生物及び環境調査)申請 (H26.10.3進達)
 申請者(日付): 沖縄県知事 仲井眞弘多 (H26.9.18)
 許可(期間): 平成26年11月21日付け 26受庁財第4号の1260 (許可日～3年間)
- 33) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生育調査)申請 (H26.10.16許可)
 申請者(日付): 一般財団法人沖縄県環境科学センター 代表理事 福村圭介 (H26.10.6)
 許可(期間): 平成26年10月16日付け 沖縄県教育委員会指令第46号 (許可日～H27.7.13)
- 34) 【国天】オカヤドカリの現状変更(生態調査)申請 (H26.10.17許可)
 申請者(日付): 横浜国立大学都市イノベーション学府・研究院 深澤あき (H26.10.15)
 許可(期間): 平成26年10月17日付け 沖縄県教育委員会指令第47号 (許可日～H27.9.30)
- 35) 【国天】オカヤドカリの現状変更(一時捕獲及び飼育)申請 (H26.10.22進達)
 申請者(日付): 伊佐 ななこ (H26.10.20)
 許可(期間): 平成26年11月21日付け 26受庁財第4号の1391 (H26.7.21～H26.9.4)
- 36) 【国特】イリオモテヤマネコの現状変更(生態調査及び試料採取)協議 (H26.10.22進達)
 協議者(日付): 環境省那覇自然環境事務所長 (H26.10.21)
 同意(期間): 平成26年11月21日付け 26受庁財第4号の1422 (同意日～H29.3.31)
- 37) 【国天】星立天然保護区域の現状変更(枝払い及び転石破碎工)申請 (H26.10.23進達)
 申請者(日付): 沖縄県知事 仲井眞弘多 (H26.10.20)
 許可(期間): 平成26年11月21日付け 26受庁財第4号の1391 (許可日～H27.2.27)

- 38) 【県天】両生類4種の現状変更(一時捕獲)申請 (H26.11.18許可)
 申請者(日付): 木村青史 (H26.11.15)
 許可(期間): 平成26年6月12日付け 沖縄県教育委員会指令第33号 (H26.11.22~11.25)
- 39) 【国天】首里金城の大アカギの現状変更(土壌改良)申請 (H26.10.23進達)
 申請者(日付): 沖縄県知事 仲井眞弘多 (H26.10.20)
 許可(期間): 平成26年12月12日付け 26受庁財第4号の1586 (許可日~H27.2.27)
- 40) 【国天】ヤンバルクイナの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H26.11.21進達)
 申請者(日付): 公益財団法人山階鳥類研究所 理事長 島津久永 (H26.11.18)
 許可(期間): 平成26年12月12日付け 26受庁財第4号の1587 (許可日~3年間)
- 41) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(説明板設置)協議 (H26.11.25進達)
 協議者(日付): 沖縄森林管理署長 岡本一孝 (H26.11.14)
 同意(期間): 平成27年1月16日付け 26受庁財第4号の1599 (同意日~1ヶ月)
- 42) 【国天】オカヤドカリの現状変更(採取)申請 (H27.1.23進達)
 申請者(日付): 沖縄オカヤドカリ取扱商組合 組合長 新垣昭 (H27.1.13)
 許可(期間): 平成27年2月13日付け 26受庁財第4号の1908 (許可日~H27.9.30)
- 43) 【県天】フタオチョウの現状変更(採取)申請 (H27.2.16許可)
 申請者(日付): 広島大学大学院総合科学研究科 (H27.2.7)
 許可(期間): 平成27年2月16日付け 沖縄県教育委員会指令第5号 (許可日~H27.7.15)
- 44) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(工作物【カメラ】設置)申請 (H27.2.16許可)
 申請者(日付): 株式会社東部交通 代表取締役 玉盛雅治 (H27.2.9)
 許可(期間): 平成27年2月16日付け 沖縄県教育委員会指令第6号 (H27.4.1~H28.3.31)
- 45) 【国天】仲間川天然保護区域の現状変更(工作物【水位計】設置)申請 (H27.2.23許可)
 申請者(日付): 東京工業大学大学院情報理工学研究科教授灘岡和夫 (H27.2.5)
 許可(期間): 平成27年2月23日付け 沖縄県教育委員会指令第8号 (許可日~H27.12.31)
- 46) 【国天】指定鳥類6種の現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H27.2.24進達)
 申請者(日付): 公益財団法人山階鳥類研究所 理事長 島津久永 (H27.2.19)
 許可(期間): 平成27年3月13日付け 26受庁財第4号の2108 (H27.4.1~H29.12.31)
- 47) 【県天】アマミヤマシギの現状変更(一時捕獲及び試料採取)申請 (H27.2.24許可)
 申請者(日付): 公益財団法人山階鳥類研究所 理事長 島津久永 (H27.2.19)
 許可(期間): 平成27年2月24日付け 沖縄県教育委員会指令第9号 (H27.4.1~H29.12.31)
- 48) 【国特】ノグチゲラの現状変更(生態調査及び試料採取)協議 (H27.2.24進達)
 協議者(日付): 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所長 (H27.2.20)
 同意(期間): 平成27年3月13日付け 26受庁財第4号の2109 (同意日~H30.3.31)
- 49) 【国天】指定動物種9種の現状変更(捕獲罠設置)協議・報告 (H27.3.17進達)
 協議者(日付): 沖縄防衛局長 (H27.3.10)
 同意(期間): 平成27年4月17日付け 26受庁財第4号の2236 (H25.4.30~H28.3.31)
- 50) 【県天】指定動物種6種の現状変更(捕獲罠設置)申請 (H27.3.17許可)
 申請者(日付): 沖縄防衛局長 (H27.3.10)
 許可(期間): 平成27年3月17日付け 沖縄県教育委員会指令第15号 (許可日~H30.3.31)
- 51) 【国天】米原のヤエヤマヤシ群落の現状変更(動物調査・工作物設置)協議 (H27.3.26進達)
 協議者(日付): 環境省 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所長 (H27.3.6)
 同意(期間): 平成27年4月17日付け 26受庁財第4号の2339 (同意日~H30.3.31)
- 52) 【県天】指定動物種6種の現状変更(捕獲罠設置)申請・報告 (H27.4.14許可)
 申請者(日付): 環境省 九州地方環境事務所 那覇自然環境事務所長 (H27.3.24)
 許可(期間): 平成27年4月14日付け 沖縄県教育委員会指令第19号 (許可日~H29.5.1)

5. 埋蔵文化財

(1) 開発協議（文化財の有無及び取扱いの照会・協議）

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	所在地	開発等の種別	事業者（上段） 進達者（下段）	回答内容（所在文化財）
1	与那原町	個人住宅建設	個人 与那原町教育委員会	島ノ前原遺跡
2	本部町	個人住宅建設	個人 本部町教育委員会	辺名地遺跡
3	本部町	倉庫建設	MOU設計企画 本部町教育委員会	備瀬貝塚

(2) 文化財保護法第93条及び94条に係る発掘届・通知一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	工事主体	工事目的	回答内容
1	墨屋原浜崎遺跡	名護市	さくら不動産有限会社	その他の開発	工事立会
2	大中区土器出土地	名護市	個人	個人住宅	工事立会
3	澤川原遺物散布地	南城市	株式会社松樹 南風原支店	共同住宅	慎重工事
4	古宇利原B遺跡	今帰仁村	今帰仁村長	道路	発掘調査
5	前兼久貝塚	恩納村	株式会社JCC	商業施設	慎重工事
6	ミドリグスク	八重瀬町	個人	太陽光発電施設	工事立会
7	大堂原西遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
8	新城グスク	八重瀬町	個人	個人住宅	慎重工事
9	那覇港周辺遺跡群及び東村跡	那覇市	沖縄県知事	学生寮	発掘調査
10	安和与那川原遺跡	名護市	沖縄県知事	河川	発掘調査
11	屋富祖村跡	八重瀬町	八重瀬町長	駐車場整備	発掘調査
12	屋部貝塚	名護市	名護市長	水道	工事立会
13	フクヂ山古墓群	那覇市	浦添市長	道路	発掘調査
14	真玉橋古島A遺跡、真玉橋西原古墓群	豊見城市	沖縄県土木建築部南部土木事務所長	法面对策	工事立会
15	越来原遺跡	沖縄市	個人	共同住宅	慎重工事
16	階段状平坦面、大袋原の猪垣	恩納村	沖縄総合事務局北部国道事務所長	道路	発掘調査
17	中原同原遺跡ほか8遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	道路	発掘調査
18	泊・崇元寺西方遺跡	那覇市	株式会社プレサンスコーポレーション	共同住宅	発掘調査
19	屋部川口古瓦出土地	名護市	名護市長	公園造成	工事立会
20	越来原遺跡	沖縄市	個人	共同住宅	慎重工事

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
21	カヤウチバンタ遺跡	国頭村	沖縄電力株式会社	電気	工事立会
22	屋嘉部集落内遺物散布地	南城市	個人	共同住宅	慎重工事
23	保栄茂後原遺物散布地	豊見城市	豊見城市長	道路	工事立会
24	高摩文仁グスク	糸満市	鹿児島県土木部都市 計画課長	その他の開発	工事立会
25	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	共同住宅	慎重工事
26	安仁屋・新城イシジャー流域 古墓群ほか9遺跡	宜野湾市	沖縄防衛局長	その他の開発	発掘調査
27	摩文仁遺跡	糸満市	神奈川県知事	その他の開発	慎重工事
28	首里当蔵村跡	那覇市	個人	共同住宅	工事立会
29	稲福遺跡（山グスク）	南城市	個人	太陽光発電施設	工事立会
30	思原遺跡ほか4遺跡	名護市	沖縄防衛局長	道路・河川	その他
31	新城グスク、慶座原遺物散布 地	八重瀬町	沖縄県知事	その他の開発	工事立会
32	上グスク	八重瀬町	個人	その他の開発	工事立会
33	天久貝塚	那覇市	沖縄県知事	その他の開発	発掘調査
34	大山前門原第三遺跡	宜野湾市	株式会社ファンスタ イル	共同住宅	慎重工事
35	溝原貝塚	名護市	沖縄電力株式会社	電気	慎重工事
36	ハナンダガマ遺跡	南城市	南城市長	道路	慎重工事
37	仲尾次水溜橋	今帰仁村	今帰仁村長	道路	発掘調査
38	首里末吉の山陣地と周辺遺 跡、宇栄原2丁目の壕	那覇市	那覇市長	その他の開発	工事立会
39	ヒジガービラ西側の壕	那覇市	沖縄県南部土木事務 所長	その他の開発	工事立会
40	宇茂佐古島遺跡	名護市	個人	個人住宅	慎重工事
41	真玉橋古島B遺跡、真玉橋西 原古墓群	豊見城市	個人	墓	慎重工事
42	防疫給水部隊壕（ウマウトウ シー）	糸満市	沖縄県子ども生活福祉部 平和援護・男女参画課長	その他の開発	工事立会
43	垣花台地の陣地跡	那覇市	那覇市長	その他の開発	工事立会
44	豊見城グスク	豊見城市	沖縄電力株式会社	その他の開発	工事立会
45	豊見城グスク	豊見城市	豊見城市長	道路	工事立会
46	名嘉地古島遺跡	豊見城市	個人	個人住宅	工事立会
47	大頓遺跡	八重瀬町	個人	個人住宅	工事立会
48	首里高校内中城御殿跡	那覇市	沖縄県知事	学校	発掘調査

項目 No.	遺 跡 名	所 在 地	工 事 主 体	工 事 目 的	回 答 内 容
49	首里当蔵旧水路	那覇市	沖縄県土木建築部南 部土木事務所長	その他の開発	発掘調査
50	西村跡	那覇市	個人	共同住宅	工事立会
51	浜屋原貝塚D地点	読谷村	金秀建設株式会社	待合室	慎重工事
52	友利元島遺跡	宮古島市	個人	個人住宅	発掘調査

(3) 文化財保護法第96条及び97条に係る遺跡発見届・通知一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	発 見 地	遺跡名	届出・通知者	原 因	措置状況
1	宮古島市城辺字北野加那	西新生の岩陰墓	宮古農林水産振興セ ンター所長	土地改良	発掘調査
2	宮古島市城辺保良村後	村越岩陰墓	宮古農林水産振興セ ンター所長	土地改良	発掘調査
3	宮古島市城辺長間東根間	東根間岩陰墓	宮古農林水産振興セ ンター所長	土地改良	発掘調査
4	那覇市松山1丁目	沖縄県立沖縄病 院跡	沖縄県知事	高等学校体育館	工事立会
5	那覇市真嘉比2丁目	真嘉比2丁目塚	株式会社あらかち	共同住宅	発掘調査
6	宮古島市下地字嘉手苅	イリノソコ陣地 塚	宮古農林水産振興セ ンター所長	土地改良	発掘調査

(4) 文化財保護法第102条に係る埋蔵物の鑑査及び文化財認定一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月 日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
1	喜友名貝塚	H26. 3. 31	宜野湾市教育委員 会教育長	個人	沖縄産のマカイ1点	宜野湾市教 委
2	カヤ原遺跡A地点	H25. 7. 17	伊江村教育委員 会教育長	個人	土器片、石器、貝製品、貝 類など {165箱}	伊江村教委
3	ナガラ原東貝塚	H25. 7. 19	伊江村教育委員 会教育長	個人	土器片、陶器片など {2 箱}	伊江村教委
4	ナガラ原第三貝塚	H25. 11. 7	伊江村教育委員 会教育長	個人	土器片、石器、貝製品、貝 類、人骨など {332箱}	伊江村教委
5	糸数城跡	H26. 3. 27	南城市教育委員 会教育長	南城市長	土器片、類須恵器片、陶磁 器片、金属製品、獣骨片等 {4箱}	南城市教委
6	知念城跡	H26. 2. 6	南城市教育委員 会教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器、土器、自然遺 物等 {15箱}	南城市教委
7	古宇利原B遺跡	H26. 3. 31	今帰仁村教育委員 会教育長	株式会社た こ満	陶磁器片、土器片、石製 品、自然遺物 {40箱}	今帰仁村教 委
8	今帰仁城跡附シイナ 城跡	H26. 3. 31	今帰仁村教育委員 会教育長	今帰仁村長	陶磁器片、金属製品、石製 品、自然遺物 {20箱}	今帰仁村教 委
9	南山城跡	H26. 3. 20	糸満市教育委員 会教育長	糸満市長	土器、陶磁器、瓦、貝片、 骨片、石材等 {7箱}	糸満市教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月 日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
10	溝原貝塚	H26. 2. 28	名護市教育委員会教育長	名護市長	土器、青磁、褐釉陶器、沖縄産陶器、肥前陶磁ほか {69箱}	名護市教委
11	ナングシク遺跡群	H26. 3. 31	名護市教育委員会教育長	沖縄県知事、名護市城区長	陶磁器160点、土器83点、カムイヤキ9点、古銭1点、古瓦1点、玉類2点	名護市教委
12	具志川城跡	H26. 3. 31	久米島町教育委員会教育長	久米島町長	中国産陶磁器片 (青磁・白磁)、陶器・土器、自然遺物 (獣骨) {1箱}	久米島町教委
13	勝連城跡	H26. 3. 7	うるま市教育委員会教育長	うるま市長	陶磁器(中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか)、土器、瓦、石器、鉄製品、自然遺物(貝殻、獣魚骨等){15箱}	うるま市教委
14	大湾アガリヌウガン遺跡	H26. 3. 24	読谷村教育委員会教育長	大湾区	土器、石器、青磁、陶器、ガラス瓶、獣骨 他 {1箱}	読谷村教委
15	トゥマイグシク	H26. 3. 26	読谷村教育委員会教育長	読谷村長	土器、陶磁器 {1箱}	読谷村教委
16	下大木原遺跡	H25. 12. 19	読谷村教育委員会教育長	沖縄総合事務局	土器、石器{1箱}	読谷村教委
17	新垣グスク	S47. 8. 29	中城村教育委員会教育長	新垣自治会長	外国産陶磁器、国内産陶磁器、土器、金属製品、獣骨、貝殻遺骸、石器{2箱}	中城村教委
18	白保竿根田原洞穴遺跡	H26. 7. 2	沖縄県教育委員会教育長	沖縄県知事	石材、人骨、獣骨 {1箱}	県立埋蔵文化財センター
19	野底遺跡	H26. 6. 30	石垣市教育委員会教育長	八重山リゾート開発株式会社	土器片、陶磁器片、骨、自然遺物など {50箱}	石垣市教委
20	カヤウチバンタ遺跡	H26. 8. 17	沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科教授 上原静	(株)南都 大石林山	土器片1014点、石器片67点、貝輪(二枚貝)1点、貝(マイマイ)3855点、獣魚骨片62点、現代遺物7点	沖縄国際大学
21	屋富祖村跡	H26. 8. 29	八重瀬町教育委員会教育長	八重瀬町長、個人	陶磁器類(中国産陶磁器、沖縄産陶磁器ほか)、土器、石器、銭貨、自然遺物(獣骨、貝殻等){4箱}	八重瀬町教委
22	伊礼原遺跡	H24. 7. 31	北谷町教育委員会教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄産陶器・本土産磁器)、土器、石器、獣骨、貝殻等{146箱}	北谷町教委
23	平安山原A遺跡	H23. 2. 21	北谷町教育委員会教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄産陶器・本土産磁器)、土器、石器、獣骨、貝殻等{300箱、土嚢袋421袋}	北谷町教委
24	伊礼原遺跡	H20. 11. 25	北谷町教育委員会教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄産陶器・本土産磁器)、土器、石器、獣骨、貝殻等{129箱}	北谷町教委
25	平安山原B遺跡	H23. 12. 16	北谷町教育委員会教育長	北谷町長	陶磁器類(中国産陶磁器・沖縄産陶器・本土産磁器)、須恵器、土器、石器、貝製品、獣骨、貝殻等{94箱}	北谷町教委
26	阿波連浦貝塚	H26. 9. 11	沖縄県教育委員会教育長	渡嘉敷村長	土器、石 {2箱}	県立埋蔵文化財センター
27	慶座原遺物散布地	H26. 11. 6	八重瀬町教育委員会教育長	個人	土器、陶質土器、沖縄産無釉陶器、瓦、自然遺物 (貝類) {1箱}	八重瀬町教委
28	大山前門原第三遺跡	H26. 11. 14	宜野湾市教育委員会教育長	株式会社ファンスタイル	近代陶磁器、土器片、石器片 {1箱}	宜野湾市教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月 日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
29	東村跡	H26. 12. 26	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材{74箱}	県立埋蔵文化財センター
30	中城御殿跡	H26. 12. 22	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	陶磁器類、金属製品、石製品、ガラス製品、獣魚骨類、貝類 {70箱}	県立埋蔵文化財センター
31	浦添城跡	H26. 3. 28	浦添市教育委員会 教育長	沖縄県知事、浦添市長	瓦、陶磁器、土器、金属製品、獣魚骨など{15箱}	浦添市教委
32	知念城跡	H27. 1. 30	南城市教育委員会 教育長	南城市長	瓦破片、陶磁器、土器、自然遺物等 {2箱}	南城市教委
33	城間東空寿古墓群	H27. 2. 9	浦添市教育委員会 教育長	沖縄県知事ほか	蔵骨器59基、蔵骨器片、その他の陶磁器、古人骨など{45箱}	浦添市教委
34	首里高校内中城御殿跡	H27. 2. 27	沖縄県教育委員会 教育長	沖縄県知事	土器、石器、陶磁器、石製品、金属製品、銭貨、獣魚骨、貝、石材、ガラス製品{全773点}	県立埋蔵文化財センター
35	中頭方西海道及び普天満参詣道	H27. 3. 6	浦添市教育委員会 教育長	浦添市長	陶磁器、瓦など{1箱}	浦添市教委
36	浦添城跡	H27. 2. 27	浦添市教育委員会 教育長	沖縄県知事、浦添市長	陶磁器、瓦など{44箱}	浦添市教委
37	東村跡	H26. 4. 7	那覇市教育委員会 教育長	沖縄県知事	中国産陶磁器、沖縄産陶器、本土産磁器など{2箱}	那覇市教委
38	牧志松尾山古墓群	H26. 6. 4	那覇市教育委員会 教育長	(株)ケン・コーポレーション	蔵骨器16基、陶磁器片、銭貨、キセルなど{5箱}	那覇市教委
39	首里当蔵村跡	H26. 7. 22	那覇市教育委員会 教育長	個人	中国産磁器、東南アジア産陶器など {2箱}	那覇市教委
40	沖縄県立沖縄病院跡	H26. 10. 14	那覇市教育委員会 教育長	沖縄県知事	沖縄産施釉陶器、薬瓶など {1箱}	那覇市教委
41	伊江御殿別邸庭園	H26. 11. 4	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	鉄製品など{7箱}	那覇市教委
42	天久貝塚	H26. 12. 1	那覇市教育委員会 教育長	天久資産保存会	土器、石器、貝類など {30箱}	那覇市教委
43	ナイクブ古墓群	H26. 9. 18	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	蔵骨器23基、陶磁器片など {33箱}	那覇市教委
44	東村跡	H27. 3. 25	那覇市教育委員会 教育長	個人	中国産陶磁器など{2箱}	那覇市教委
45	西村跡	H27. 3. 5	那覇市教育委員会 教育長	個人	中国産陶磁器など{2箱}	那覇市教委
46	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	H26. 8. 11	那覇市教育委員会 教育長	那覇市長	沖縄産陶器、本土産陶磁器、鉄製品、切石など {20箱}	那覇市教委
47	大嶺村跡	H26. 12. 3	那覇市教育委員会 教育長	国土交通省大坂航空局	沖縄産陶器、本土産陶磁器など {1箱}	那覇市教委

項目 No.	遺 跡 名	発見年月 日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財 {物件の数量}	保管場所
48	泊・崇元寺西方遺跡	H26. 7. 18	那覇市教育委員 会教育長	(株) プレサ ンス コーポ レーション	沖縄産陶器、本土産陶磁器 など {7箱}	那覇市教委

(5) 文化財保護法第107条に係る出土文化財譲与一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺 跡 名	発見年月日	発 見 者	発見地の 所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
1	ナングシク遺跡群	H26. 3. 31	名護市教育委員 会教育長	沖縄県知事、 名護市城区長	陶磁器160点、土器83点、 カムイヤキ9点、古銭1点、古 瓦1点、玉類2点	名護市教委
2	南山グスク	H23. 3. 10	糸満市教育委員 会教育長	糸満市長	陶磁器、瓦、古銭等{1箱}	糸満市教委
3	糸蒲遺跡	H22. 10. 19	中城村教育委員 会教育長	中城村長	土器片、外国産陶磁器、国内産 陶磁器、鉄製品、獣骨、貝殻遺 骸、石製品{8箱}	中城村教委
4	クバサーヌ御嶽	H25. 12. 27	浦添市教育委員 会教育長	浦添市長、 個人	陶磁器など{5箱}	浦添市教委
5	ヒヤジョー毛遺跡	H5. 3	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長ほ か	陶磁器片・石器・土器・銭貨・ ガラス製品・炭化米等{80箱}	那覇市教委
6	安謝東原遺跡	H5. 3	那覇市教育委員 会教育長	那覇市土地 開発公社理 事長ほか	陶磁器片・石器・土器等{30 箱}	那覇市教委
7	銘苺原遺跡	H5. 9	那覇市教育委員 会教育長	個人ほか	陶磁器片・石器・土器・銭貨・ 鉄製品・ガラス製品・炭化米 等{210箱}	那覇市教委
8	安謝前原遺跡	H6. 11	那覇市教育委員 会教育長	那覇市土地 開発公社理 事長ほか	石器・土器・炭化種子等{30 箱}	那覇市教委
9	ナーチャー毛古墓群	H6. 12	那覇市教育委員 会教育長	那覇市土地 開発公社理 事長ほか	陶磁器片・石器・石製品・銭貨・金属 製品・プラスチック製品・ガラス製品・ 蔵骨器・人骨等{770箱}	那覇市教委
10	安謝前東原遺跡	H7. 3	那覇市教育委員 会教育長	那覇市土地 開発公社理 事長ほか	陶磁器片・石器・土器・銭貨・ 鉄製品・ガラス製品・瓦・人骨 等{340箱}	那覇市教委
11	安謝東原南遺跡	H7. 3	那覇市教育委員 会教育長	個人ほか	陶磁器片・石器・土器・鉄製 品等{10箱}	那覇市教委
12	旧天久村古井戸遺跡	H7. 3	那覇市教育委員 会教育長	大蔵省	陶磁器片・瓦等{10箱}	那覇市教委
13	銘苺古墓群南地区	H8. 10	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長ほ か	陶磁器片・石器・石製品・銭貨・金属 製品・プラスチック製品・ガラス製品・ 蔵骨器・人骨等{2180箱}	那覇市教委
14	名護松尾原南遺跡	H11. 3	那覇市教育委員 会教育長	個人ほか	陶磁器片・石器・土器・銭貨・ ガラス製品・瓦等{90箱}	那覇市教委
15	銘苺直禄原遺跡	H11. 3	那覇市教育委員 会教育長	個人ほか	陶磁器片・石器・土器・鉄製 品・木製品等{80箱}	那覇市教委
16	銘苺原南遺跡	H11. 3	那覇市教育委員 会教育長	那覇市土地 開発公社理 事長ほか	陶磁器片・石器・土器・鉄製 品・銭貨等{20箱}	那覇市教委
17	銘苺古墓群北地区	H12. 1	那覇市教育委員 会教育長	那覇市長ほ か	陶磁器片・石器・石製品・銭貨・金属 製品・プラスチック製品等・ガラス製 品・蔵骨器・人骨等{380箱}	那覇市教委

項目 No.	遺跡名	発見年月日	発見者	発見地の所有者	主な埋蔵文化財	保管場所
18	安謝西原古墓群	H12. 8	那覇市教育委員会教育長	那覇市長ほか	陶磁器片・石器・石製品・銭貨・金属製品・プラスチック製品・ガラス製品・蔵骨器・人骨等{300箱}	那覇市教委
19	渡口・和仁屋近世墓群	H26. 1. 30	北中城村教育委員会教育長	沖縄県知事	き、鳩目銭、青銅製品、沖縄産施釉陶器、碗、獣骨(下顎骨、獣骨片)計14点	北中城村教委
20	前田・経塚近世墓群	H26. 2. 20	浦添市教育委員会教育長	浦添市長	蔵骨器100基 陶磁器、青銅製品、埋葬人骨など{200箱}	浦添市教委
21	浦添城跡	H25. 3. 28	浦添市教育委員会教育長	沖縄県知事、浦添市長	瓦、陶磁器、土器、金属製品、獣魚骨など{255箱}	浦添市教委

(6) 文化財保護法第92条第1項に係る発掘調査の届出一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体・調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格及び遺構等
1	カヤウチバンタ遺跡	国頭村	沖縄国際大学 教授 上原静	学術研究	縄文・貝塚
2	網取遺跡	竹富町	東海大学 教授 北條芳隆	学術研究	近世・集落跡

(7) 文化財保護法第99条第1項に基づく発掘調査の報告一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な時期・性格
1	古宇利原B遺跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	道路改良	縄文・集落跡
2	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	仲座久宜	保存目的による範囲内容確認調査	旧石器・洞穴遺跡
3	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	山本正昭	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・御殿跡
4	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	河川改修	縄文・散布地
5	東村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	金城貴子 具志堅清大	学生寮建設	グスク・集落跡
6	屋富祖村跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	金城達	駐車場整備	グスク・集落跡
7	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	砂川正幸	道路改築	近世・墓
8	泊・崇元寺西方遺跡	那覇市	那覇市市民文化部	玉城安明	共同住宅建設	グスク・集落跡
9	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	宮城淳一	保存目的による範囲内容確認調査	弥生・貝塚
10	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	那覇市市民文化部	仲宗根啓	空港滑走路増設	近世・生産遺跡
11	サキタリ洞遺跡	南城市	県立博物館・美術館	山崎真治	学術研究	縄文・散布地
12	喜友名前原第三遺跡、喜友名東原第三遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	大堀皓平 宮城淳一	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・生産遺跡
13	階段状平坦面、大袋原の猪垣	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	道路建設	近世・生産遺跡
14	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	内間靖	公園造成	近世・墓
15	ナングシク遺跡群	名護市	名護市教育委員会	宮城弘樹	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・グスク

項目 No.	遺跡名	所在 市町村	調査主体	調査担当者	調査目的	遺跡の主な 時期・性格
16	首里金城村跡	那覇市	那覇市市民文化部	安斎真知子	細街路整備	近世・交通 遺跡
17	フクヂ山古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	當銘由嗣	道路建設	近世・墓
18	城間東空寿古墓群	浦添市	浦添市教育委員会	仲宗根久里 子	道路建設	近世・墓
19	天久貝塚	那覇市	那覇市市民文化部	島弘	急傾斜地崩壊対策	縄文・貝塚
20	野嵩上後原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	公園造成	近世・墓
21	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	宮城智浩	河川改修	縄文・散布地
22	首里高校内中城御殿跡(H25調査)	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠 亀島慎吾	校舎改築	グスク・屋敷跡
23	首里高校内中城御殿跡(H26調査)	那覇市	県立埋蔵文化財センター	羽方誠 亀島慎吾	校舎改築	グスク・屋敷跡
24	フクヂ山古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	當銘由嗣	道路建設	近世・墓
25	渡喜仁立石原古墓	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	保存目的による範囲内容確認調査	近世・墓
26	仲尾次水溜橋	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	與那嶺俊	道路建設	近現代・交通遺跡
27	大当原貝塚	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	宅地造成	弥生・貝塚
28	大湾アガリヌウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	保存目的による範囲内容確認調査	グスク・集落跡
29	泊・崇元寺西方遺跡	那覇市	那覇市市民文化部	安斎真知子	共同住宅建設に伴う試掘調査(新規発見)	グスク・集落跡
30	牧志松尾山古墓群	那覇市	那覇市市民文化部	知念政樹	ホテル建設に伴う確認調査(新規発見)	近世・墓
31	大袋原の猪垣	恩納村	恩納村教育委員会	崎原恒寿	道路建設に伴う分布調査(新規発見)	近世・生産遺跡
32	下大木原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	道路建設に伴う試掘調査(範囲等変更)	縄文・集落跡
33	首里当蔵旧水路	那覇市	那覇市市民文化部	樋口麻子	電線共同溝工事に伴う確認調査(新規発見)	近代・水路
34	首里当蔵村跡	那覇市	那覇市市民文化部	樋口麻子	住宅建設に伴う試掘調査(新規発見)	グスク・集落跡
35	ヒジガービラ西側の壕	那覇市	那覇市市民文化部	仲宗根啓 當銘由嗣	斜面防災対策事業に伴う確認調査(新規発見)	近代・戦争遺跡
36	大山前門原第三遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	仲村毅	共同住宅建設に伴う確認調査(範囲等変更)	沖縄貝塚・集落跡
37	首里当蔵旧水路	那覇市	那覇市市民文化部	樋口麻子	街路改良工事に伴う確認調査(範囲等変更)	近代・水路
38	渡慶次瀉野原遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	小原裕也	返還軍用地跡地利用に係る埋蔵文化財有無の試掘調査(新規発見)	グスク・集落跡

(8) 埋蔵文化財発掘調査・分布調査事業一覧(文化財保護担当部局予算計上)

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源 (%)
1	首里崎山村跡ほか3遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	資料整理	13,553	国80、市20
2	越来グスクほか1遺跡	沖縄市	沖縄市教育委員会	資料整理	10,245	国80、市20
3	尻並第二遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	発掘調査	2,421	国80、県3.9、市16.1

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
4	友利元島遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	発掘調査	6,048	国80、県3.9、市16.1
5	喜友納前原第三遺跡・喜友納東原第三遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	54,153	国80、県20
6	阿波連浦貝塚	渡嘉敷村	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	8,669	国80、県20
7	戦争遺跡(崎枝海底線陸揚室跡ほか46遺跡)	石垣市ほか13市村	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	10,654	国80、県20
8	白保竿根田原洞穴遺跡	石垣市	県立埋蔵文化財センター	確認調査 資料整理	16,703	国80、県20
9	サキタリ洞遺跡	南城市	沖縄県立博物館・美術館	確認調査	28,427	国80、県20
10	西普天間住宅地区(キャンプ瑞慶覧)	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	分布調査 資料整理	98,869	国80、市20
11	南山グスク	糸満市	糸満市教育委員会	資料整理	7,759	国80、県3.9、市16.1
12	ツツピスキアブ	宮古島市	宮古島市教育委員会	資料整理	10,118	国80、県3.9、市16.1
13	斎場御嶽周辺	南城市	南城市教育委員会	確認調査	8,953	国80、市20
14	安波貝塚ほか	国頭村	国頭村教育委員会	確認調査 資料整理	12,077	国80、村20
15	渡喜仁立石原古墓	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	確認調査 資料整理	4,000	国80、県3.9、村16.1
16	大川グシク跡ほか2遺跡	宜野座村	宜野座村教育委員会	確認調査 資料整理	1,045	国80、県3.9、村16.1
17	大湾アガリスウガン遺跡	読谷村	読谷村教育委員会	確認調査 資料整理	12,056	国80、村20
18	バンジュ道	中城村	中城村教育委員会	確認調査 資料整理	1,243	国80、県3.9、村16.1
19	伊江殿内庭園	那覇市	那覇市教育委員会	資料整理	474	国80、県2.1、市17.9
20	伊江御殿別邸庭園	那覇市	那覇市教育委員会	発掘調査	1,225	国80、市20
21	フルスト原遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	発掘調査 資料整理	1,563	国80、県2.1、市17.9
22	浦添城跡	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査 資料整理	35,756	国80、県2.1、市17.9
23	中頭方西海道及び普天満参詣道	浦添市	浦添市教育委員会	発掘調査	6,100	国80、県2.1、市17.9
24	具志川城跡(H25繰越含む)	糸満市	糸満市教育委員会	資料整理	45,273	国80、県2.1、市17.9
25	勝連城跡	うるま市	うるま市教育委員会	発掘調査 資料整理	7,677	国80、県2.1、市17.9
26	知念城跡	南城市	南城市教育委員会	発掘調査 資料整理	1,197	国80、県2.1、市17.9
27	糸数城跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	1,881	国80、県3.9、市16.1
28	玉城城跡	南城市	南城市教育委員会	資料整理	6,105	国80、県3.9、市16.1
29	今帰仁城跡附シイナ城跡	今帰仁村	今帰仁村教育委員会	発掘調査 資料整理	18,813	国80、県2.1、村17.9
30	中城城跡	中城村	中城村教育委員会	発掘調査 資料整理	13,381	国80、県2.1、村17.9
31	内間御殿	西原町	西原町教育委員会	発掘調査	8,100	国80、県2.1、町17.9

項目 No.	事業名	所在地	調査主体	目的	経費(千円)	財源(%)
32	具志川城跡	久米島町	久米島町教育委員会	発掘調査	1,815	国80、県2.1、町17.9

(9) 事業者(原因者)負担による埋蔵文化財発掘調査一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
1	普天間古集落遺跡ほか3遺跡	宜野湾市	県立埋蔵文化財センター	海軍病院建設	資料整理	42,650	沖縄防衛局
2	首里高校内中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	学校建設	発掘調査 資料整理	129,074	沖縄県
3	東村跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	宿舎等建設	発掘調査 資料整理	44,900	沖縄県
4	ナイクブ古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	公園造成	発掘調査	36,271	沖縄県
5	フクヂ山古墓群	那覇市	那覇市教育委員会	道路建設	発掘調査	45,023	国土交通省
6	那覇市大嶺海岸の石切場等跡	那覇市	那覇市教育委員会	空港	発掘調査	147,222	内閣府
7	首里平良橋周辺遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	河川	資料整理	4,547	国土交通省
8	泊・崇元寺西方遺跡	那覇市	那覇市教育委員会	住宅	発掘調査	7,000	事業者
9	天久貝塚	那覇市	那覇市教育委員会	その他の開発	発掘調査	943	沖縄県
10	野嵩上後原古墓群	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	公園整備	発掘調査	24,840	宜野湾市
11	宜野湾古集落遺跡ほか1遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	巡回道路建設	発掘調査	18,244	沖縄防衛局
12	普天間後原第二遺跡	宜野湾市	宜野湾市教育委員会	米軍施設建設	発掘調査 資料整理	23,857	沖縄防衛局
13	野底遺跡	石垣市	石垣市教育委員会	リゾート開発	発掘調査 資料整理	11,976	事業者
14	城間東空寿近世墓群	浦添市	浦添市教育委員会	道路建設	発掘調査	16,363	沖縄県
15	安和与那川原遺跡	名護市	名護市教育委員会	河川	発掘調査	19,300	沖縄県
16	溝原貝塚	名護市	名護市教育委員会	道路建設	資料整理	11,000	名護市
17	護岸の銃座	うるま市	うるま市教育委員会	護岸改修	発掘調査 資料整理	4,641	沖縄県
18	尻並遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	公共施設建設	発掘調査	1,450	宮古島市
19	長中地区岩陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	発掘調査	709	沖縄県
20	H24地盛南岩陰墓・地盛南避難壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	資料整理	336	沖縄県
21	H24長南岩陰墓・陣地壕	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	資料整理	960	沖縄県
22	H24村越陣地壕跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	ほ場整備	資料整理	264	沖縄県
23	H25長南岩陰墓	宮古島市	宮古島市教育委員会	道路整備	資料整理	312	沖縄県
24	与那覇遺跡	宮古島市	宮古島市教育委員会	公共施設建設	資料整理	17,813	宮古島市
25	古宇利原B遺跡	今帰仁村	今帰仁村村教育委員会	村道改良	発掘調査 資料整理	2,713	今帰仁村

項目 No.	遺跡名	所在地	調査主体	原因	業務内容	経費(千円)	主な財源
26	仲尾次水溜橋	今帰仁村	今帰仁村村教育委員会	橋梁改修	発掘調査	1,718	今帰仁村
27	谷茶の生産遺跡群	恩納村	恩納村教育委員会	道路建設	発掘調査 資料整理	9,585	内閣府沖縄総合事務局
28	億首川流域古墓群(田 慶志原・福花原地区)	金武町	金武町教育委員会	道路建設	発掘調査	10,144	内閣府沖縄総合事務局
29	ナガラ原第三貝塚他2 遺跡	伊江村	伊江村教育委員会	浸透池等建設	資料整理	9,659	沖縄県
30	平安山原B遺跡	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	資料整理	43,865	北谷町
31	伊礼原遺跡(国指定 外)	北谷町	北谷町教育委員会	土地区画整理	資料整理	21,932	北谷町
32	渡口・和仁屋近世墓群	北中城村	北中城村教育委員会	道路建設	発掘調査	497	沖縄県
33	屋富祖村跡	八重瀬町	八重瀬町教育委員会	駐車場整備	発掘調査	1,759	八重瀬町
34	首里城跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	史跡整備(国 営公園整備)	発掘調査 資料整理	54,055	内閣府沖縄総合事務局
35	中城御殿跡	那覇市	県立埋蔵文化財センター	県営首里城公園整備	発掘調査 資料整理	25,425	沖縄県

(10) 独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所 文化財担当者専門研修参加者一覧

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	研修名	期間	参加者	所属
1	文化財担当者専門研修「古文書歴史資料調査基礎課程」	平成26年12月8日～ 12月12日	宮良 みゆき	久米島町教育委員会
2	文化財担当者専門研修「遺跡情報記録調査課程」	平成26年12月16日～ 12月19日	宮城 淳一	県立埋蔵文化財センター

(11) 鉱業権法第24条の規定に基づく協議

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

項目 No.	出願地	出願番号	鉱種名	出願種類	回答内容	
					所在埋蔵文化財	所在天然記念物等
1	南大東村	26沖経出採般第1号及び 第2号	石灰石、ド ロマイト	採掘	星野洞、小沢洞	地域を定めず指定された天然記念物
2	南城市	26沖経出採般第3号	石油、可燃 性天然ガス	採掘	史跡糸数城跡ほ か	地域を定めず指定された天然記念物
3	宜野座村	18沖経出採第14号 (再協議)	石灰石	採掘	明記原第三遺跡 ほか	地域を定めず指定された天然記念物
4	糸満市	48沖通出採第45号(督 促) ※再度回答	石灰石	採掘	上座又殿遺跡ほ か	地域を定めず指定された天然記念物
5	名護市	26沖経出採般第4号	石灰石、ド ロマイト	採掘	該当なし	地域を定めず指定された天然記念物
6	伊平屋村	16沖経出採第7号及び第 8号	けい石	採掘	史跡田名城跡ほ か	くまや洞窟、地域を定めず指定された天然記念物

6. 円覚寺跡保存整備事業（文化庁国庫補助事業）

（1）事業の概要

円覚寺は、尚真王が父尚円王の御霊を祀るために1492年に建立した臨済宗の総本山であり、第二尚氏王代の菩提寺でもあった。

琉球第一の巨刹で、総門をはじめ、三門、放生池、仏殿、龍淵殿、鐘楼、獅子窟等が昭和8年1月23日に国宝に指定されたが、去る沖縄戦において破壊され、国宝指定は解除された。戦後、総門や放生橋等の一部が復元整備され、公開されているが、それ以外の建造物群等は旧琉球大学運動場整備に伴い、客土による遺構の保護が行われていた。

本史跡は、県営公園の範囲に含まれており、隣接する首里城跡や円覚寺総門、龍潭、円鑑池等の史跡の整備及び公園整備事業（国、県土木建築部）との整合性を図り、その保全と活用・公開等を図るため、国の補助を受けて保存整備事業を実施している。

当該事業は、平成9年度から平成13年度までの5ヶ年計画で整備に先駆けて遺構調査が実施され、調査並びに聞き取り調査の成果に基づいて、平成14年度より境内を取り巻く石牆（土留め石積み）の復元整備を実施し、平成26年度から三門復元に取組んでいる。

（2）円覚寺跡整備委員会及び整備指導

- ①平成26年12月12日（円覚寺跡現場・沖縄県立芸術大学会議室） 第1回 整備委員会
 ②平成27年3月12日（沖縄県立芸術大学会議室） 第2回 整備委員会

三門復元の基本設計を行った。基本設計作成の際には、発掘調査で確認された遺構の取扱いや三門基壇の嵩上げ等について整備委員会の意見を受けて、修正等を行った。

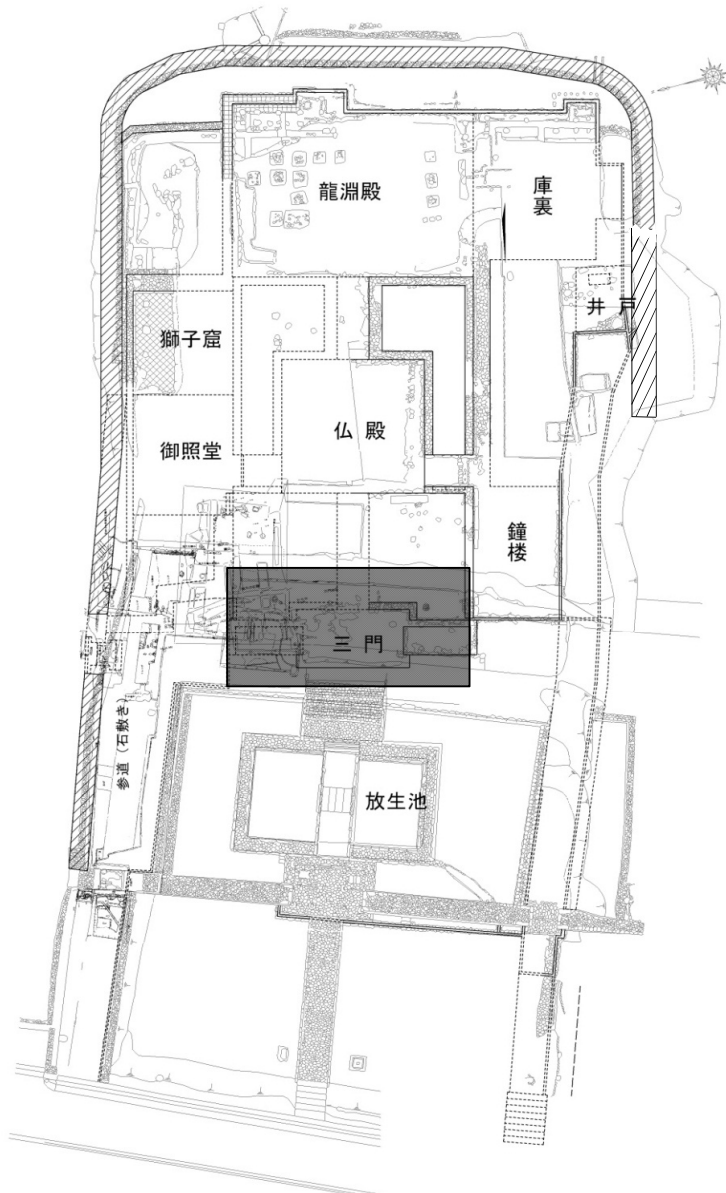
（3）円覚寺跡保存整備事業の事業費並びに事業箇所の推移

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成14年度	・石牆（土留め石積み） 修復工事（97.1㎡） ・工事用道路の設置	35,000	27,000	28,822.50	委託料費 5,617.40 ・設計 4,649.40 ・監理 968
平成15年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（48.1㎡）	15,000	12,000	工事経費 9681	委託料費 4,935 ・設計 3,360 ・監理 1,575
平成16年度	・石牆（土留めの石積み） 修復工事（28.1㎡） ・工事用道路の設置 ・既存石積みの解体	15,000	12,000	工事経費 8999.55	委託料費 5,355 ・設計 3,360 ・監理 1,291.50 ・測量 703.5
平成17年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（43.0㎡）	15,000	12,000	工事経費 8,999.55	委託料費 5,281.70 ・設計 2,324.70 ・監理 2,259.60 ・測量 697.4
平成18年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（42.0㎡）	13,500	10,800	工事経費 8,999.55	委託料費 3,525.00 ・設計 1,079.40 ・監理 2,445.60
平成19年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（30.0㎡）	14,986	11,988	工事経費 7,001.40	委託料費 3,865.00 ・設計 1,575.00 ・監理 1,786.00 ・測量 504
平成20年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（29.4㎡）	14,407	11,525	工事経費 6,990.90	委託料費 3,705.00 ・設計 1,680.00 ・監理 1,694.70 ・化学測定 330.3
平成21年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（27.0㎡）	14,340	11,472	工事経費 6,770.40	委託料費 3,771.00 ・設計 1,785.00 ・監理 1,470.00 ・伐採 516

年度	事業箇所等	事業費	国費	工事請負費	委託料（設計・管理）
平成22年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（44.5㎡）	17,677	14,141	工事経費 9,921.45	委託料費 3,768.45 ・設計 1,732.50 ・監理 1,695.75 ・年代測定 340.2
平成23年度	三門地区地耐力調査	5,000	4,000	工事経費 0	委託料費 4,730,668 ・地耐力調査 4,730,668
平成24年度	石牆（土留めの石積み） 修復工事（17.5㎡）	19,229	15,383	工事経費 8,998	委託料費 3,769.00 ・設計 1,832.00 ・監理 1,937.00
平成25年度	石牆（土留め石積み）	17,587	14,068	工事経費 4042.5	委託料費 2,702.80 ・設計 1,570.80 ・管理 1,132.00
平成26年度	三門復元基本設計	9,185	0	工事経費 0	委託料費 8,640.00 ・設計 8,640.00

平成26年度 円覚寺保存整備事業

沖縄県立芸術大学側



首里城側

【凡例】

平成26年度基本設計作成箇所



7. 新たに国の指定になった文化財

(1) 記念物の指定

①久米島町奥武島の 暈石

種 別：天然記念物

所 在 地：沖縄県島尻郡久米島町字奥武 170 番 1 および同地先

所 有 者：久米島町、国

指 定 基 準：天然記念物の部 3 (地質鉱物)
1 岩石、鉱物及び化石の産出状態
5 地震断層など地塊運動に関する現象
7 岩石の組織

指定をする理由：久米島は、沖縄本島の西方100キロメートルに位置する。久米島町奥武島の暈石は、久米島の東海岸の沖合い600メートルの奥武島の海岸の岩暈である。この岩暈は、安山岩質の溶岩からなり、柱状節理が模式的に発達する。

地質学的に琉球弧南部を形成する島々には、火山岩系統の地質からなる島がほとんど見られない。現在活動を行っている火山としては、無人島である硫黄島と西表海底火山があるのみである。過去に火山活動の痕跡を遡ってみても、久米島と粟国島に第三紀の火山岩が分布するのみで、沖縄本島・宮古・八重山・西表などの主要な島々には、火山岩系統の地質は見られない。こうした島々の中で久米島は異色の存在である。全島が火山岩や火砕流・泥流堆積物から構成されこれを縁どるようにサンゴ礁が発達している。久米島の火山活動は過去二つの時期にあったことが指摘されている。一つは第三紀中新世(2000万年前)、もう一つは第三紀鮮新世(数百万年前)である。どちらも、琉球列島形成以前のアジア大陸の縁辺部での火山活動である。「久米島町奥武島の暈石」の形成期は、後者の時期にあたる。

アジア大陸の縁辺部に凹みが形成され、東シナ海が開き始めるのである。現在の琉球列島の形成の始まりである。日本海が開き、日本列島の形成が始まるのが1500万年前であるから、琉球列島の形成は1000万年近く遅れて開始したことになる。

溶岩が固結する際には、体積収縮により柱状節理(規則的な割れ目)ができることがある。材木岩などとも呼ばれる六角形や五角形の柱状の節理である。福井県の東尋坊や兵庫県の玄部洞などが、代表的なものである。「久米島の暈石」は、波浪により侵食された、柱状節理の断面が露出したものである。柱の数は数千個にも及び、個々の柱の径は、1から1.5メートルにも達する。柱状節理の断面が露出するものとして、柱状節理の径の規模からも沖縄県内はもちろん、全国的にも希有の存在であり、琉球列島形成の萌芽を示唆するエピソードとしても極めて重要である。

官 報 告 示：平成26年7月29日付け文部科学省告示第95号

②ティンダバナ

種 別：名勝

所 在 地：沖縄県八重山郡与那国町字野武原他

所 有 者：与那原町

指 定 基 準：名勝の部 五 (岩石・洞穴)

指定をする理由：与那国島のほぼ中央に位置するティンダバナは、断層崖が交叉して形成された突端部の地名で、与那国島に固有の伝承・儀礼に彩られた岩石・洞穴などから成る風致景観である。頂部の標高は85m、垂直に切り立った琉球石灰岩の厚さは約20mにも及ぶ。下層の緻密な八重山層群を侵食して随所に凹地形(ノッチ)を形成し、その天井部には八重山層群が脱水固結して形成された直径1m以上の巨大な岩塊も見られる。

ティンダバナには、15世紀末期に与那国島を統治したとされる女傑サンアイ・イソバの居住地であったとの伝承があるほか、イヌガンと呼ぶ凹地形には、久米島から那覇の首里王府へと向かった貢納船が無人島であった与那国島に漂着し、乗船者のうち生き残った1人の女性と

同乗の1匹の雄犬が棲んでいたとの犬祖伝説も伝わる。

古来、清浄で豊富な湧水を生む岸壁とその周辺は島民の重要な儀礼の場となってきた。その独特の風致景観は与那国島の精神文化を語る上で重要な意義を持ち、観賞上の価値及び学術上の価値が高い。

官 報 告 示：平成26年10月6日付け文部科学省告示第138号

③^{なかぐすく}中城^{みち}ハタ道

種 別：史跡

所 在 地：中頭郡中城村字新垣上原他

所 有 者：中城村他

指 定 基 準：史跡の部 六（交通・通信施設、治山・治水施設、生産施設その他経済・生産活動に関する遺跡）

指定をする理由： ハタ道は、首里を起点として西原間切の幸地グスクを通り沖縄本島の東側を北上し、中城間切の新垣グスク・中城城を経て、勝連間切の勝連城に至る琉球王府時代の街道で、首里・中城・勝連の各城を結ぶ最短ルートである。「ハタ道」とは崖沿いの道の意味である。中城城の主要部が築かれた14世紀後半までに整備されたものと考えられ、15世紀後半以降は中頭方東海道の道筋となり、間切間を結ぶ宿次の道（宿道）として機能した。その後、17世紀後半以降、宿道としての機能を終え、それ以後は地域の集落や間切をつなぐ生活道として利用された。1853年には、米国ペリー艦隊の探検隊がハタ道を使用している。今回、歴史の道整備事業の成果に基づき、新垣地区と伊舎堂地区のハタ道及び関連遺跡の保存を図る。新垣地区では、約330mの道が良好に残り、15世紀頃と近世の二時期の石敷きも見つかった。沿道には集落遺跡、集落を守る新垣グスク、ペリー探検隊が休息した地点が残る。また、伊舎堂地区では、約250m分の道が良好に残るほか、神事を司ったノロの添石ヌンドウンチの墓も所在する。このようにハタ道は、14世紀後半頃には整備され、首里から中城城を経て勝連城までを結ぶ主要道として、また15世紀後半以降は中頭方東海道として機能した道であり、往時を偲ぶ道路が良好に残存し、沿道には関連遺跡も残っている。

琉球における交通の歴史を理解する上で重要である。

官 報 告 示：平成27年3月10日付け文部科学省告示第38号

(2) 記念物の追加指定

①^{ひがしへんなぎき}東平安名崎

種 別：名勝

所 在 地：沖縄県宮古島市城辺字保良平安名他

所 有 者：宮古島市他

指 定 基 準：名勝の部 八（砂丘、砂嘴、海浜、島嶼）

指定をする理由： 東平安名崎は宮古島の東端に位置し、琉球石灰岩のカルスト地形に固有の海岸性植物群落が広がる独特の岬の自然環境と宮古島に特有の伝承に彩られた風光明媚な海浜の景勝地として知られる。琉球石灰岩の海食崖とサンゴ礁の周辺海域から成る優れた風致景観は、宮古島の按司と美しい娘マムヤの悲恋の伝承を生んだ。宮古島の風土的特色を表す優秀な風致景観であり、周辺海域を含めて指定されている。今回、岬先端の灯台敷地について指定の条件が整ったため追加指定された。

官 報 告 示：平成26年10月6日付け文部科学省告示第144号

②^{やびし}八重干瀬

種 別：名勝・天然記念物

所 在 地：沖縄県宮古島市平良字大神フデ岩

所 有 者：第十一管区海上保安本部他

指 定 基 準：名勝の部 八（海浜）

天然記念物の部 3（地質鉱物）

（1）化石の産出状況

（4）生物の働きによる地質現象

（9）風化及び侵蝕に関する現象

指定をする理由： 宮古島の北方海域に広がる東西約6.5 km、南北約1.7 kmの巨大サンゴ礁群。人間の身体や身近な動物に因む名前を持ち、旧暦3月3日には女性の厄払い行事が行われるなど、生活文化と深い繋がりがある。琉球列島の海岸を特徴付けるサンゴ礁の一つで、わが国最大の卓礁群としても重要。既指定地と一連を成し、広く航海安全祈願の風習にまつわる姉弟神の伝承が残されていることから追加指定となった。

官 報 告 示：平成26年10月6日付け文部科学省告示第145号

8. 新たに国の登録になった文化財

（1）記念物（遺跡関係）の新登録

①平敷屋製糖工場跡

種 別：登録記念物（遺跡関係）

所 在 の 場 所：うるま市勝連平敷屋

構 成 要 素：煉瓦造煙突（イギリス積み）、高さ16.3m、コンクリート製貯水槽

所 有 者：平敷屋区

占 有 者：在沖米海軍艦隊活動司令部

登 録 基 準：遺跡関係の二（地域の歴史の特徴を表しているもの）

登 録 理 由： 平敷屋製糖工場跡は、昭和15年（1940）、勝連平敷屋地域の11組の旧サターヤー組が合併して新設された共同製糖工場であり、沖縄本島中部の東海岸に面する勝連半島の南側、丘陵斜面地に位置する。『平敷屋字誌』等によれば、工場建物は南向きで、その前面に3基の煙突が立ち、煙突の一つは蒸気機関のボイラーにつながり、燃料には石炭を使用したとされる。昭和19年（1944）10月の那覇空襲以降、工場は操業できず、その後、米軍の攻撃により破壊された。現在、残る煙突は煉瓦造りで高さ16.3m、煙突表面に銃痕が残るが保存状態は良好である。貯水槽はコンクリート造り、深さ3mである。戦前の沖縄の製糖業の歴史と技術の展開を考える上で価値のある遺跡である。

官 報 告 示：平成27年1月26日付け 文部科学省告示第3号



「写真提供：うるま市教育委員会」

9. 新たに県の指定になった文化財

(1) 有形文化財（絵画）の指定

① 紙本着色 喜久村 絜聡（片目地頭代）像

- | | | |
|---|---------|-------------------------------------|
| 1 | 種 別 | 沖縄県指定有形文化財（絵画） |
| 2 | 名称及び員数 | 紙本着色 喜久村 絜聡（片目地頭代）像 1幅
附 御拝領帯 3本 |
| 3 | 形 状 | 掛幅装 |
| 4 | 寸 法 | （本紙） 縦 130.2cm 横 72.6cm |
| 5 | 所 在 地 | 久米島町字嘉手苺542番地
久米島博物館 |
| 6 | 所 有 者 | 個人蔵 |
| 7 | 指 定 理 由 | |

(1) 基準

沖縄県文化財の指定・認定・選定および選択基準（昭和52年沖縄県教育委員会告示第4号）

第1 県指定有形文化財指定基準

1 絵画、彫刻の部

(2) 沖縄の絵画・彫刻史上特に意義のある資料となるもの

(2) 指定する理由

仲里間切の地頭代であった喜久村 絜聡、47歳の時の肖像画である。画賛によると、絜聡が家譜の編修を学ぶため、首里に滞在した折りに、首里あるいは那覇の絵師に描かせたものである。喜久村 絜聡は左目が見えないところから、「片目地頭代」の渾名があり、本図には左目の疾患が描かれている。

喜久村 絜聡が有名になったのは、行政手腕もさることながら、歴史的事件に遭遇したこと



による。1756年（乾隆21）、冊封使一行の乗った冠船が真謝泊で暴風に遭った時、住民を指揮督励して、使節一行を無事救助した。本図上部の賛には冊封船遭難の様子が記録されており、当時の状況を知る上でも貴重な資料となっている。賛の左下に押された落款印は満洲文字と漢字の満漢合璧となっており、琉球と清朝の交流の一端を窺うことができる。

本図中央には、赤い布を被せた黒い曲糸に、正面を向いて腰掛けた像主が配されている。像主は焦げ茶の地に白と茶色の緯緋の上衣に、朱色地に龍文と幾何学模様を交互に配した大帯を締めた琉装で、白足袋を履いている。

顔は均一な細い線で輪郭を描き、隈を使用して立体的に表現され、渾名の由来となった目の疾患や顔のシミなども写実的に描かれている。衣装は肥瘦のある線で輪郭が描かれ、彩色によって細密に模様が描写されているが平面的な表現となっている。

また、肖像画とともに伝わっている附の三本の帯は、王府から拝領され、絜聡が使っていたという口伝をもち、その中の一本は龍文と幾何学模様が交互に配されており、画中の帯と同様の図案である。

本図は、中国、朝鮮、日本など東アジアの肖像画の中において、琉球人の手による肖像画の特徴を考える上で重要であり琉球絵画史上極めて貴重な作品であることから、指定し、保存・継承を図る必要がある。

(2) 有形文化財（工芸）の指定

① 苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕

1	種別	沖縄県指定有形文化財（工芸）		
2	名称及び員数	苧麻紺地鶴に波頭文様紅型幕 2張		
3	形状	幕		
4	寸法	幕1 縦 190cm 横 370cm		
		幕2 縦 190cm 横 370cm		
5	所在地	久米島町字嘉手苺542番地 久米島博物館		
6	所有者	個人蔵		
7	指定理由			

(1) 基準

沖縄県文化財の指定・認定・選定および選択基準（昭和52年沖縄県教育委員会告示第4号）

第1 県指定有形文化財指定基準

2 工芸の部

(2) 沖縄の工芸史上又は文化史上特に貴重なもの

(2) 指定する理由

本作品の「乾隆二十二年丁丑^{ひのどうし}拝領之上布 公孫氏^{うじ}」は紅型に記されたものとしては最古の年号で、紅型の成立を考えるうえで重要な記録である。

1756年（乾隆21）、冊封使全魁、周煌一行を乗せた船は久米島近海で遭難したが、島民の救援により死傷者を一人も出さずに救出された。救援を指揮した、喜久村絜聡は上布二疋、その父絜賢は上布一疋を王府より拝領している。1759年（乾隆24）、喜久村絜聡は家譜の編修を学ぶために首里に滞在しており、この時、拝領した上布で本幕を制作させたと推測される。

二枚の紅型幕は首里王府拝領の苧麻布が使われ、八枚接ぎで、並縫いになっており、それぞれ四羽の鶴と八つの波頭文様が表されている。

鶴の模様は型紙を用いて染められ、彩色は朱、黄、桃色、水色、桔梗、灰色などとなり、隈取り^{ききょう}やキガチ（毛描き）によって、変化がつけられている。

波は筒描き^{つづび}で、横波と勢いのある波頭の高低、波しぶきの大中小を柔らかな丸で描き分けることによって、動きを出している。波の色は色差しによって藍の濃淡を染め分ける工夫がなされ、浅水色^{あしみずいろ}、白、藍の三色となっている。

紅型幕は松竹梅に鶴亀という文様構成に、多色を用いた華やかなものが多いが、本幕は鶴と波だけで構成された異色の作となっており、型染めの鶴と筒描きの波の二つの技法を併用して文様をくり返すことで、染色特有の様式美を表現することに成功している。

本幕は、銘文で制作年が分かる最古の紅型資料と言うだけでなく、さらに、型染めと筒描きの技法を併用した作品であり、沖縄の工芸史における基準作として貴重な資料と認められることから、指定し保存・継承を図る必要がある。



10. 指定文化財管理

(1) 国指定文化財管理事業

① 事業目的

文化財保護法の規定に基づき指定された重要文化財及び名勝等の維持管理の万全を期する。

② 事業内容

1) 防災設備保守点検等

指定文化財である建物等に設置した自動火災報知設備、消火設備など及びこれらに準ずる防災の保守点検等

2) 小修理

指定文化財である建物等の維持管理のための小修理

3) 名勝等庭園の荒廃防止及び民家等の環境整備

ア、名勝等に指定された庭園の適正な環境を維持するための除草、剪定、整姿等

イ、指定文化財である民家等の屋敷構え等の適正な環境を維持するために行う除草、剪定等

③ 事業主体

沖縄県

④ 事業の実績

(単位:千円)

文化財の種別	名 称	市 町 村	所 有 者	平成26年度	合 計	備 考
国指定重要文化財	中村家住宅	北中城村	中村国宏	347	21,287	(昭55～平26)
	上江洲家住宅	久米島町	上江洲智一	470	18,325	(昭54～平26)
	喜友名泉	宜野湾市	知念清栄他	117	1,990	(平5～平26)
	石垣氏庭園	石垣市	石垣長敏	130	3,396	(平15～平26)
	仲村渠樋川	南城市	仲村渠財産区	156	1,566	(平17～平26)
合 計				1,220	46,564	

11. 文化財愛護事業

(1)「私たちの文化財」図画作品募集

4月下旬～9月下旬の期間募集し、小学校1・2学年42点(10校)、小学校3・4学年54点(12校)、小学校5・6学年99点(22校)、中学139点(22校)、高等学校12点(6校)、合計346点(56校)の応募があった。

審査会:平成26年10月09日(木)14時～17時30分

沖縄県立武道館第一錬成道場

審査員:長内 聡 (豊見城南高校 教諭) 島尻 直美 (大平特別支援学校中学部 教諭)
山根 亮人 (大平特別支援学校高等部 教諭) 新垣 司 (陽明高校 教諭)
津波 京子 (真和志高校 教諭)

審査結果は下記のとおりで、表彰式を11月5日(水)15時より、県庁舎4階講堂で行い、11月4日(火)～11月7日(金)の期間、県庁舎1階の県民ホールで全入賞作品75点を展示した。

賞	小学校1・2年の部	小学校3・4年の部	小学校5・6年の部
最優秀賞	上原一馬(カリック小)	南慎之輔(平真小)	喜納陽一(北中城小)
優秀賞	野原幹司(城西小) 山下雅生(カリック小)	石嶺真玖史(カリック小) 中山盛榎(カリック小)	宮國美嬉(カリック小) 上地慶(銘苺小)
佳作	長谷川巧(カリック小) 平良昊太郎(カリック小) 栗林哲大(崎本部小) 仲舛柚乃(与那城小) 仲地輝(普天間小) 南孝之輔(平真小)	小橋川さくら(カリック小) 藤井翔太(カリック小) 仲村渠大也(松田小) 野原朝尋(北中城小)	宮國美佳(カリック小) 名護良拓(美原小) 山川こゆき(はごろも小) 大城果穂(坂田小)
入選	7名	9名	10名

賞	中学校の部	高等学校の部
最優秀賞	山川美玖(南風原中)	志喜屋悠乃(与勝高)
優秀賞	山田柚(伊波中) 納山純菜(高江洲中) 平良寧々(豊見城中)	藤紗弥(浦添工高)
佳作	屋比久明日美(伊波中) 三枝真魚(北中城中) 眞榮城未来(城北中) 大城志織(松城中) 町田優美(那覇中) 久田真由(豊見城中)	宮里佳乃(那覇高) 島早貴子(開邦高)
入選	7名	5名

(2)平成26年度文化財保護強調週間ポスター

11月1日～7日の文化財保護強調週間の啓発のため、平成25年度「私たちの文化財」図画作品募集小学生1・2年の部 最優秀作品「首里城」[池原紗彩さん 読谷村立古堅南小学校2年(受賞当時)]、並びに、高校の部 最優秀作品「富盛の意思彫大獅子」[比嘉絵留萌さん 県立浦添工業高校1年(受賞当時)]を原面にポスターを作成し、市町村教育委員会、学校、文化財関係施設などに配付した。

12. 世界遺産・首里城跡周辺文化財整備事業

(1) 現状及び課題

首里城城郭等の復元整備は、県の本土復帰記念事業並びに戦災文化財の復元整備事業として、沖縄開発庁（現内閣府）の補助を受けて行われたが、事業完了とともに同補助制度は廃止された。その後は県教育庁文化財課が管理を行っている。本来、文化財的な価値はきわめて高いが、戦災からの復元された文化財であるため国指定を受けることができず、大規模な改修等が行われていないため、き損が著しい状態にある。

(2) 事業目的

首里城跡の顔である「歓会門」・「久慶門」に掲げられた扁額を新規製作・修復することによって、首里城跡がもつ文化財的価値ならびに世界遺産としての「顕著で普遍的価値」を維持し高めるとともに、沖縄観光の重要な資源である首里城跡のイメージアップにも繋げる。

(3) 事業計画

- ① 「歓会門」の扁額を平成25年度中に新規製作し、平成26年度上半期に既存扁額と取り替え（平成26年4月10日実施）。
- ② 取り外した「歓会門」扁額1基を修復。
- ③ 県立博物館・美術館に保管されている「久慶門」の扁額1基の修復。
- ④ 修復完了後、現在掲げられている「久慶門」の扁額と取り替え（平成26年10月14日実施）。
- ⑤ 取り外した「久慶門」の扁額の修復。
- ⑥ 経年劣化した「歓会門」及び「久慶門」扁額の修復が済み次第、保管（平成27年3月修復完了）。

(4) 本事業の修復における特徴

- ① 以前の扁額は「イヌマキ」（俗称：チャーギ）を使用しているが、今回取り付けた扁額は「ヒノキ」を使用し、耐性強化を図った。
- ② 新規扁額製作では長期の掲示に耐えられる方法を調査研究（漆の種類や彩色方法の研究）し、劣化防止用の塗装を実施。
- ③ 平成4年以降掲げられていた扁額は、戦前の歓会門扁額より陰影が弱いことが確認されていた。そのため、戦前に撮影された扁額の写真を再度調査し、世界遺産としてふさわしい、より復元精度の高い扁額を作成することを目指し新規制作及び修復作業を実施。

(5) 平成26年度実績額 5,454千円

(6) 事業実施結果

平成25～26年度の二年間にわって実施された本事業では、既存の歓会門及び久慶門扁額の修復を完了するとともに、両扁額のスペアを作成した。現在掲げられている扁額の耐用性は大幅に向上しており、往時の景観を長期にわたり再現できると考えられる。また、自然災害等の要因によるき損が生じた場合でも、即座に対応することが出来るようになった。

13. 文化庁受託調査事業「名勝に関する特定の調査研究事業」

(1) 事業趣旨

全国各地に所在する消滅や改変の危機に瀕している未指定・未登録の名勝地の保護のために、必要な情報の集約を目的として調査を実施する。本調査の対象となるのは次の①、②である。

- ① 特定の主題別の調査・・・「各地の名所図会等に描かれた名勝地」、「一定の地域に集中して分布する特質のある庭園」、「文学・芸術作品に描かれた名勝地」等
- ② 個別の庭園・名勝地を対象とする調査・・・名勝として価値が高い個別の名勝地を対象とする。

(2) 本県における事業概要

「安須森」(アスムイ)をはじめ琉球開闢神話に登場する御嶽等は、琉球の精神文化を伝承する場所であるとともに、優れた風致景観を有するところでもある。しかしながら、名勝として指定されている箇所は少なく、風致景観的価値を後世に残すためには、より一層の景観保護を推進する必要がある。そこで、沖縄県では文化庁の「名勝に関する特定の調査研究事業」を活用し、琉球開闢神話に関係が深く、今なお地域に根付き、遙拝の対象となっている景勝地について、名勝指定に向けた調査研究事業を実施する。

(3) 事業名 「アマミクノムイ ～アマミクの琉球開闢伝承地～」

(4) 事業期間 平成 25 年度（契約締結日）～平成 26 年度（2 カ年）

(5) 事業内容

- ① 平成25年度：資料収集、現地調査・ヒアリング、指定候補地の測量
- ② 平成26年度：現地調査（御嶽・遙拝所等の分布調査、現地での信仰状況調査）・ヒアリング、呼称に関する調査、文献研究、本土と琉球の開闢神話の比較研究、名勝指定候補地輪郭図面の作成、最終報告書の作成

(6) 平成 26 年度実績額 2,741 千円

(7) 事業結果

『中山世鑑』を基本文献とし、さらに『おもろさうし』『琉球国由来記』『聞得大君御殿並御城御規式之御次第』を基に調査・研究した結果、①辺戸の安須森（国頭村）、②今帰仁グスク、③クバの御嶽（今帰仁村）、④知念グスク、⑤斎場御嶽、⑥玉城グスク、⑦久高のフボー御嶽、⑧菽薩の浦原（南城市）、⑨首里森、⑩真玉森、⑪辨之御嶽（那覇市）、⑫越来グスク（沖縄市）、⑬伊祖グスク（浦添市）をアマミクの琉球開闢神話伝承地とした。今後は、本調査研究結果を基に、①～⑬の伝承地について、名勝指定に向け検討していく。

14. みんなの文化財図鑑刊行事業(沖縄振興特別推進交付金事業)

(1) 事業目的

沖縄の歴史・文化への普及・啓発を行うため、国指定文化財、県指定文化財、市町村指定文化財を紹介する書籍、6冊を刊行する。刊行後は、県内の学校及び公立図書館を中心に配布するとともに、ハンドブック版については、観光客へのサービスとして世界遺産などの文化財と関連する施設に配布し、目に触れるようにする。

(2) 事業概要

沖縄県の文化財を広く普及するために、「有形文化財編」「無形・民俗文化財編」「史跡・名勝編」「天然記念物編」「埋蔵文化財編」「ハンドブック版」を作成する。初年度は調査・撮影の前段階として、図鑑研究、文化財データの整理、行事の日程等の聞き取り、班会議で編集方針の協議を行った。

(3) 実施体制

文化財課で県内の文化財情報の収集、本文の執筆を行う。写真撮影、編集、翻訳については業務委託を行う。

(4) 平成 26 年度実績額 3,126 千円（国 2,500 千円、県 626 千円）